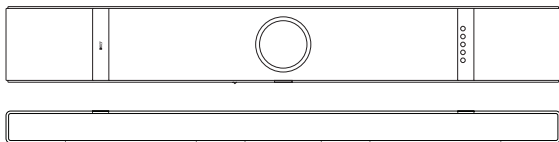


ユーザーマニュアル

XIO サウンドバー



2025 V04

目次

設定

再生

KEF Connectアプリの使用

よくある質問とトラブル
シューティング

目次

1. はじめに	5
2. 一般情報	6
2.1 取扱説明書の閲覧と保管	6
2.2 記号・注意喚起/用語の意味	6
3. クイックスタート ガイド	7
4. XIOの設定	17
4.1 適切なルータの選択	17
4.2 配置	18
4.3 XIOを電源とテレビに接続する	18
4.4 オンボーディング	19
4.4.1 KEF Connectアプリのインストール	19
4.4.2 iOSデバイスを使用する	20
4.4.3 Androidデバイスを使用する	22
4.5 ネットワークなしのXIOの設定	25
4.6 壁への取り付け手順	26
4.6.1 取り付け	26
4.6.2 ケーブル管理	27
5. 接続、およびコントロール インターフェイス	29
5.1 コントロール パネル	29
5.2 赤外線受信機	29
5.3 背面パネル	29
5.4 リモコン	30
5.5 基本的なLED表示	31
6. テレビからオーディオを再生する	33
6.1 HDMIケーブル接続	33
6.2 TVモードを選択する	34
6.3 再生コントロール	34
7. Wi-Fi接続でオーディオを再生する	35
7.1 Wi-Fi接続	35
7.2 Wi-Fiモードを選択する	35
7.3 マルチルームストリーミング	36
7.3.1 AirPlay	36
7.3.2 Google Cast	37
7.4 モバイル デバイスを利用した音声コントロール	39
7.4.1 Siri	39
7.4.2 Google Assistant	39
8. Bluetooth接続でオーディオを再生する	40
8.1 Bluetoothモードを選択する	40
8.2 Bluetoothペアリング	40
8.3 再生コントロール	41
9. 光接続によるオーディオの再生	42
9.1 光ケーブル接続	42
9.2 光入力モードの選択	43
9.3 再生コントロール	43

10. KEF Connectアプリの使用.....	44
10.1 ホーム	44
10.1.1 ホーム画面の編集	45
10.2 リモコン	45
10.3 音楽コンテンツ	46
10.3.1 音楽ストリーミング サービスから音楽を再生する	47
10.3.1.1 Amazon Music	47
10.3.1.2 Deezer	48
10.3.1.3 HIGHRESAUDIO	49
10.3.1.4 Qobuz	50
10.3.1.5 Spotify	51
10.3.1.6 Tidal	52
10.3.1.7 インターネットラジオ	53
10.3.1.8 Podcast	53
10.3.1.9 カスタム ステーション	54
10.3.2 再生コントロール	55
10.3.2.1 再生画面	55
10.3.2.2 検索	55
10.3.2.3 お気に入り	56
10.3.2.4 キューを再生する	57
10.3.2.5 プレイリスト	59
10.4 イコライゼーション	62
10.4.1 EQウィザード	62
10.4.2 IPTで校正する	64
10.4.3 ノーマル モード	65
10.4.4 エキスパート モード	67
10.4.5 設定を理解する	69
10.4.6 EQプロファイルの選択	70
10.4.7 EQ プロファイルの名前を変更する	70
10.4.8 EQプロファイルを削除する	71
10.5 アカウントプロファイル	72
10.6 スピーカーの選択	73
10.6.1 「My Speaker」(自分のスピーカー) と「Speakers nearby」(近くのスピーカー) ..	73
10.6.2 スピーカー情報	74
10.7 スピーカーの詳細設定	75
10.7.1 電源を入れるオプション	75
10.7.1.1 スタンバイ モード	75
10.7.1.2 セカンド・ウェイクアップ ソース	75
10.7.1.3 TVソースへの自動切り替え	75
10.7.2 おやすみモード	76
10.7.2.1 コントロール パネルLED	76
10.7.2.2 スタンバイのコントロール パネル	76
10.7.2.3 起動音	76
10.7.2.4 コントロール パネル ロック	76
10.7.3 スピーカー システムオプション	76
10.7.3.1 プリファード バーチャライザー	76
10.7.4 サブウーファー システム オプション	76
10.7.4.1 起動時のウェイクサブ	76
10.8 ボリューム	77
10.8.1 音量調節	78
10.8.1.1 音量表示設定	78
10.8.1.2 スピーカーの音量感度	78

10.8.1.3 ハードウェアボリューム	78
10.8.1.4 最大音量	78
10.8.2 ウェイクアップボリューム	79
10.9 スケジュール機能	80
10.9.1 スリープタイマーの設定	80
10.9.2 アラームの設定	81
10.9.3 設定済みのアラームのオン/オフの切り替え	81
10.9.4 呼び出し音アラームをオフにする	82
10.9.5 設定済みのアラームの削除	82
10.10 パフォーマンス	83
10.10.1 ストリーミング設定 - オーディオ品質	83
10.10.2 ネットワーク品質	84
10.11 スピーカーの最新情報	85
10.11.1 自動ファームウェアチェック	85
10.11.2 手動でのファームウェアのアップデート	85
10.12 アプリケーション	86
10.12.1 テーマ設定 - テーマ	86
10.12.2 テーマ設定 - ホーム画面をリセット	86
10.12.3 分析 - アプリ/スピーカーの改善	86
10.13 リモコン	87
10.13.1 IR受信	88
10.13.2 お気に入りボタン	88
10.13.3 EQプリセット	88
10.14 Google Cast	88
10.15 サポート	89
11. 空間オーディオ コーデック	90
11.1 XIOとの互換性	90
12. 清掃とメンテナンス	91
13. 廃棄	92
13.1 梱包資材の廃棄	92
13.2 スピーカーの廃棄	92
13.3 バッテリーの廃棄	92
14. よくある質問とトラブルシューティング	93
15. 別紙	96
15.1 仕様	96
15.2 ロゴと商標	98
15.3 製品の寸法	100
15.3.1 XIO	100
15.3.2 壁掛け用キット	101
15.4 スピーカー接続テスト	102
15.5 消費電力	107
15.6 記号の説明	107
15.6.1 警告/安全マーク	107
15.6.2 地域マーク	107
15.7 IRコマンドコード	110

1. はじめに

KEFサウンドバー – XIOをお選びいただきありがとうございます。

イノベーションは、KEFを競合他社と区別するものです。KEFは、60年以上にわたり、ラウドスピーカーの研究開発の最前線に立ち、「最新の音楽フォーマットを再現し、可能な限り最高の品質で再現する」という課題に対処しながら、業界をリードするスピーカーを設計してまいりました。

デジタル オーディオ時代向けの強力なサウンドバー システムであるXIOにおいて、この伝統は今日も受け継がれており、テレビ視聴を映画のような傑作に転換する、比類のない空間オーディオアドベンチャーを約束しています。

本サウンドバーシステムをご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みください。

2. 一般情報

2.1 取扱説明書の閲覧と保管



このユーザーマニュアルは、XIOサウンドバー（以下、「XIO」）に付属しており、設定と取り扱いに関する重要な情報が含まれています。

XIOをご使用になる前に、このユーザーマニュアルと安全情報（別の小冊子として）を注意深くお読みください。これは特に、安全情報に当てはまります。これを怠ると、人身傷害やXIOの損傷につながる可能性があります。

今後使用するために、ユーザーマニュアルと安全情報を保管してください。XIOを第三者に渡す場合は、ユーザーマニュアルと安全情報を必ず共有ください。

2.2 記号・注意喚起/用語の意味

本ユーザーマニュアルでは、次の記号と注意喚起用語が使用されています。

▲ 警告！

この記号・注意喚起/用語は、中程度のリスクを持つ危険を示し、回避しない場合は死亡または重傷を負う可能性があります。

注意！

この記号・注意喚起/用語は、物的損傷の可能性を警告するものです。

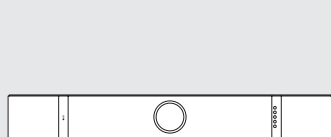


この記号は、取り扱いと使用に関する、役立つ補足情報を提示するものです。

3. クイックスタート ガイド

ボックス内

XIO本体または部品に破損や不足がないかを確認ください。万が一ある場合は、製品をご使用にならず、販売店にご連絡ください。



XIO



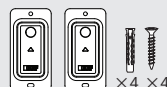
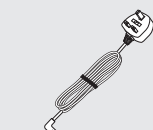
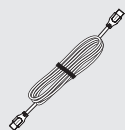
リモコン



単4電池



印刷資料



HDMIケーブル* (2m) 電源ケーブル* (2m)

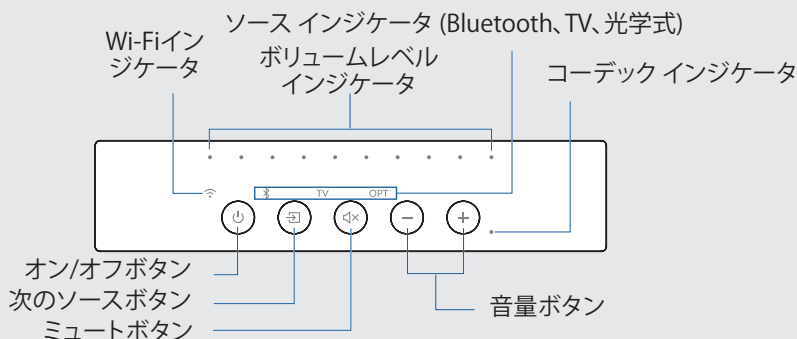
壁掛け用テンプレート

壁掛け用キット

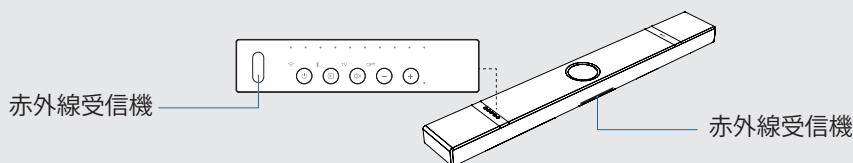
*KEFブランドのベルクロテープで巻かれています。緩んだケーブルを整理するためにご使用ください。

製品概要

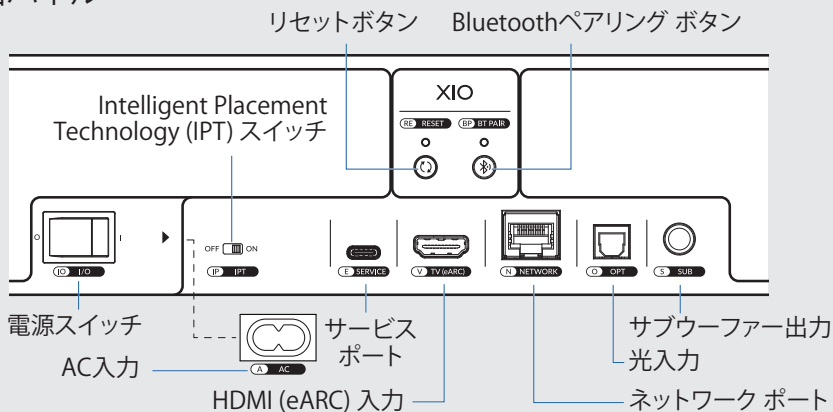
コントロール パネル



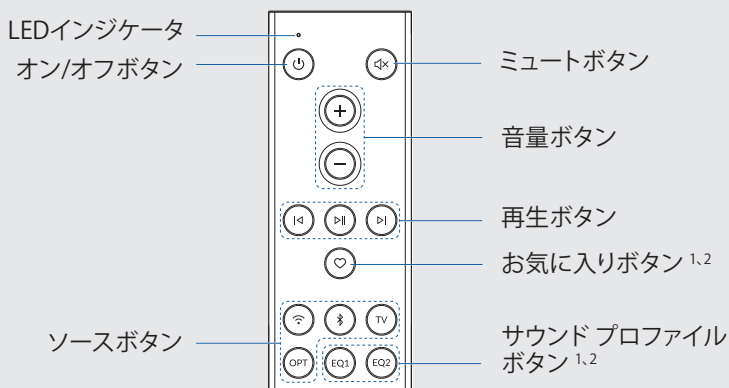
赤外線受信機



背面パネル

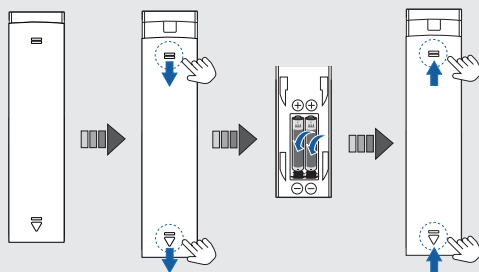


リモコン



¹ お気に入りボタンはデフォルトで次のソースに設定されています。EQ1はデフォルトでダイアログモードになっていません。EQ2はデフォルトでナイトモードになっています。

² EQ1、EQ2、お気に入りボタンをKEF Connectアプリからカスタマイズすることができます。



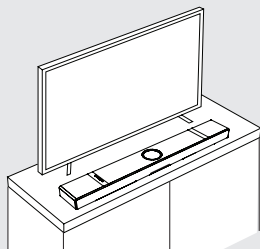
開閉させるには、丸で囲まれた部分を押してバッテリー部分のカバーをスライドさせてください。バッテリーの持続時間は、ストレージの使用時間と使用状況によって異なります。パフォーマンスに一貫性がない、またはLEDインジケータが機能しなくなった場合は、新しいAAAアルカリ乾電池と交換してください。

XIOの設定

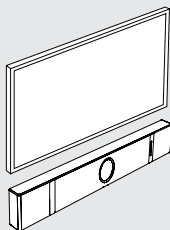
1. 配置

XIOをテレビ台に置くか、壁に取り付けます(壁への取り付け手順のセクションをご覧ください)。

テレビ台の上

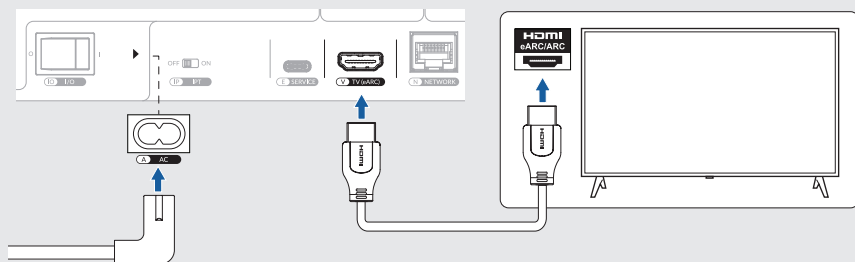


壁掛け

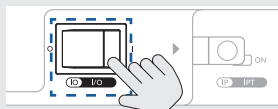


2. XIOを電源とテレビに接続する

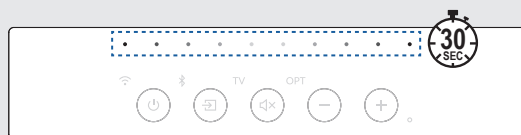
1. 電源ケーブルとHDMIケーブルをXIOに接続します。



2. 電源ケーブルのプラグを電源ソケット/コンセントに接続します。
3. 電源スイッチ (IO) を押して、「I」 (オン) 位置にセットしてください。



4. XIOが起動するまで、約30秒間待ちます。このプロセス中に、ボリュームレベル インジケータが順番に点滅します。



3. ネットワークあり／なしでのXIOセットアップ

3.1 ネットワークによるXIOの設定

最適なパフォーマンスを得るには、Wi-Fiネットワークを利用してXIOを設定してください。

1. iOS*またはAndroid**デバイスに「KEF Connect」をダウンロードしてインストールしてください。



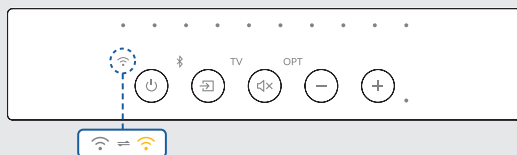
Q KEF CONNECT



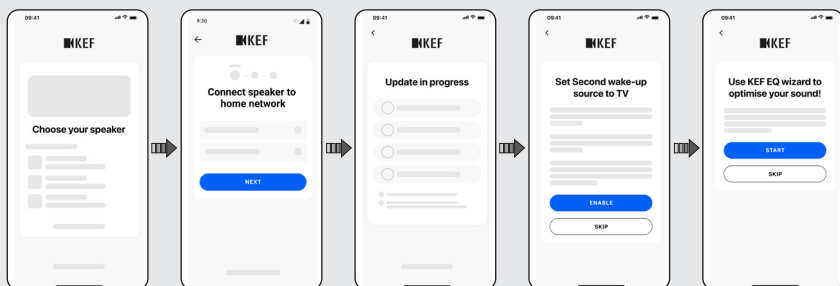
*iOS 14以上が必要です。最新の要件については、App Storeを参照してください（変更されることがあります）。

**Android 10以上が必要です。最新の要件については、Google Playを参照してください（変更となる場合があります）。

2. XIOのコントロールパネルのWi-Fiアイコンを確認してください。Wi-Fiアイコンがオレンジ/白で交互に点滅しているときは、使用開始する準備ができています。



3. KEF Connectアプリを起動し、ユーザーアカウントを作成し、画面の指示に従ってXIOを設定します。

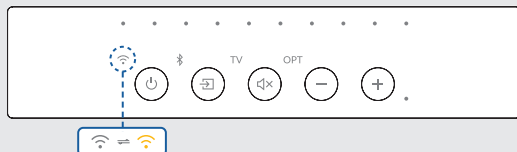


3.2 ネットワークを使用しないXIOの設定

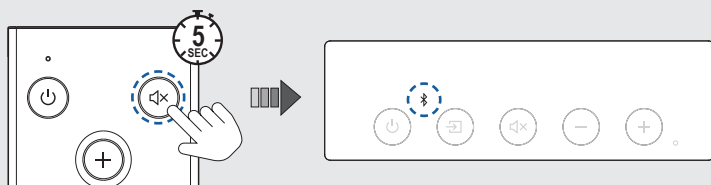
Wi-Fiネットワークが不安定な場合は、ネットワークを使用せずにXIOを設定いただくことも可能です。

警告!この場合、XIOの操作や機能、カスタマイズが制限されます。また、重要な機能アップデートも受け取ることができません。

1. XIOがセットアップモードになっていることを確認します。Wi-Fiアイコンがオレンジ/白で交互に点滅します。



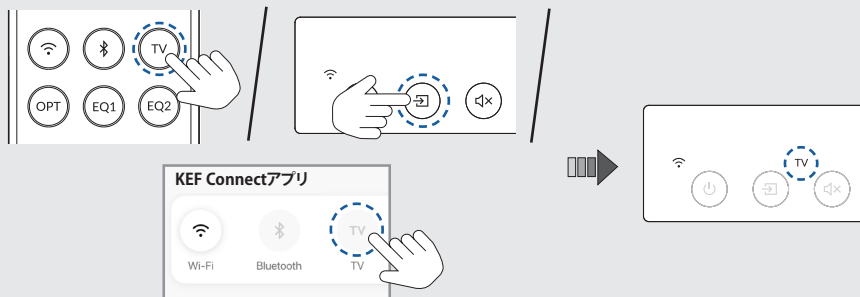
2. XIOがBluetooth検出モードになるまで、リモコンのMuteボタンを押し続けます。



Wi-Fi機能が無効になりました。

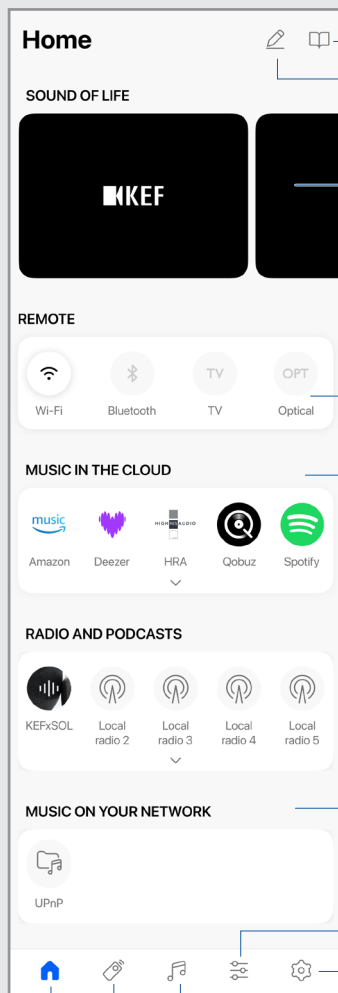
4. テレビの音声を再生する

1. コントロールパネル、リモコン、KEF Connectアプリを介してソースをテレビに切り替えます。接続が確立されると、TVアイコンが白に点灯します。



- HDMIケーブルがテレビのeARCポートに接続されていることと、テレビ設定でHDMI CEC接続が有効になっていることを確認してください。詳しくはTVのユーザーマニュアルを参照してください。
2. テレビでコンテンツを再生し、XIOの体験をお楽しみください。

KEF Connectアプリの概要



KEFの最新ニュースとストーリー

ホーム画面の編集

KEFの最新ニュースとストーリー

XIOのオン/オフとソースの切り替え

音楽コンテンツ (音楽ストリーミングサービス、インターネットラジオステーション、ポッドキャスト、メディアサーバ) へのショートカット

EQ設定

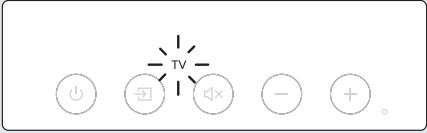
スピーカーの設定

音楽コンテンツ

リモコン

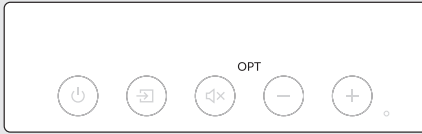
ホーム

基本的なLED表示

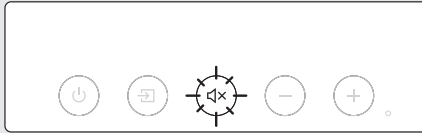
LED	ステータス	
	ボリュームレベル インジケータが順番に点滅します。	XIOが起動しています。
	Wi-Fiアイコンが白とオレンジで点滅します。	Wi-Fiネットワークに接続する準備ができました。KEF Connectアプリを起動してXIOを設定します。
	Wi-Fiアイコンが白色に点灯しています。	Wi-Fiネットワークに接続されています。
	TVアイコンが点滅しています。	テレビに接続しています。
	TVアイコンが白色に点灯しています。	TVに接続しました。
	Bluetoothアイコンが脈動しています。	Bluetooth検出モードで、Bluetoothデバイスとペアリングする準備ができています。
	Bluetoothアイコンが白色に点灯しています。	Bluetoothデバイスに接続されました。

LED

ステータス



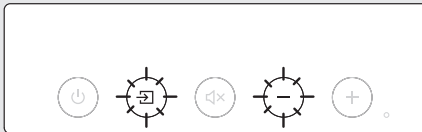
光入力アイコンが白色に点灯しています。XIOは光入力モードです。



ミュートアイコンが点滅しています。XIOはミュートされています。



コーデック インジケータが点灯します。青:Dolby Atmos
オレンジ:DTS:X

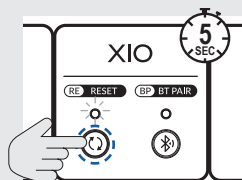


ソースボタンとボリューム ダウン ボタンが交互に点滅しています。ファームウェアの更新が進行中です。ファームウェアのアップデートが完了するまで、電源ケーブルを抜かないでください。

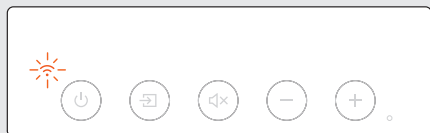
よくある質問

1.XIOをリセットするには？

ボタンの上にあるインジケータが点滅するまで、背面パネルのリセットボタン (RE) を長押しします。



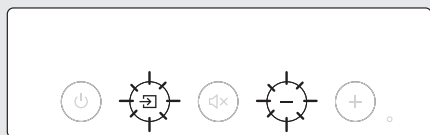
2.以下のLED表示が見られた場合、どうすれば良いですか？



Wi-Fiアイコンがオレンジでゆっくりと点滅しています。

XIOはWi-Fiネットワークに接続できません。

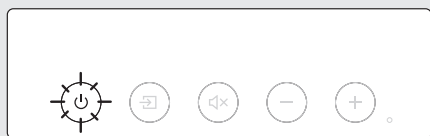
1. Wi-Fiネットワークの安定性をチェックして確保してください。
2. XIOをリセットし、ネットワークに再接続します。
3. あるいは、LANケーブルを使用してXIOをルータに直接接続することもできます。



ソースボタンとボリューム ダウン ボタンがゆっくりと点滅。

ファームウェアの更新が中断されました。XIOをリセットしないでください。

1. XIOから電源ケーブルを外します。
2. 約60秒待ちます。
3. 電源ケーブルをXIOに戻します。
4. KEF Connectアプリで、ファームウェアアップデートを再度行います。



ON/OFFボタンが点滅しています。

システムエラーが発生。

1. XIOから電源ケーブルを外します。
2. 約30分待ちます。
3. 電源ケーブルをXIOに接続し直し、通常の動作に戻します。

注:不適切な電源接続でシステムエラーが発生する可能性があります。XIOでソケット/出力エクステンダを使用しないでください。

問題が解決しない場合は、KEFサポートチームにお問い合わせください。

壁への取り付け手順

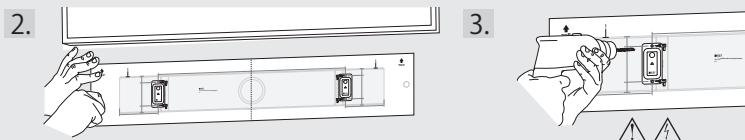
⚠ 警告!

- ・XIOを壁に取り付ける際は、電気ケーブル、水道管、ガス管、または構造上重要な梁を傷つけないことを必ずご確認ください。確認が取れない場合は、取り付けを行わないでください。
- ・XIOが設置される壁が平らで滑らかで垂直であることを確認してください。
- ・XIOを取り付ける壁に損傷がなく、取り付け箇所につき20kgの荷重に耐えられることを確認してください。
- ・同梱されている取り付けキットは、コンクリート壁に適したものです。取り付けの前に、壁に適した設置材料について専門的なアドバイスを求め、必要に応じてそれらを交換してください。

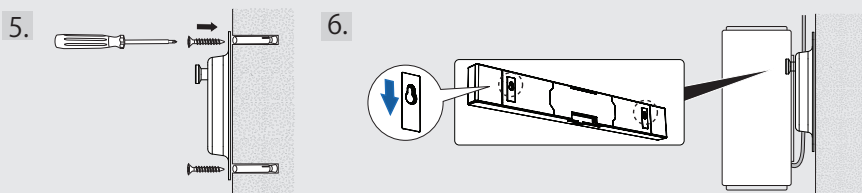
1. 取り付け場所を決定する際は、付属の壁取り付け用のテンプレートを使用してください。
2. テレビの下に壁掛けテンプレートをテープで固定します。水準器を使用して、テンプレートが水平になっていることを確認します。テンプレートに従って、XIOがテレビから少なくとも25mm (0.98インチ) 下にあることを確認してください。

備考: 最適なサウンドパフォーマンスを得るために、XIOの上に、オープンスペースを少なくとも100mm (3.9インチ) 残すことをお勧めします。

3. 壁取り付けテンプレートに従い、電気ドリルで壁に4つの穴を開けてください。



4. 壁取り付けテンプレートを取り外します。
5. ドリル穴に壁アンカーを挿入します。次に、壁ブラケットを壁に配置し、ブラケットの穴を通してネジをあけた穴にねじ込み、しっかりと固定してください。
6. 壁ブラケットの突き出た頭にXIOを掛けます。突き出たヘッドがXIOの背面にある取り付け穴にロックされていることを確認します。



ヒント: 電源ケーブルとHDMIケーブルがXIOの背面に正しく接続されていることを確認します。
HDMIケーブルをテレビに戻すために、壁とXIOの間に12mmのスペースが確保されています。

7. 「XIOを電源とテレビに接続する」という手順書に従って、設定を続けてください。

4. XIOの設定

4.1 適切なルータの選択

XIOは、最高の音質、ワイヤレス スตรีミングと包括的なコントロールのために、Wi-Fiネットワークに「オンボーディング」されている必要があります (オンボーディングの章をご覧ください)。

ルータの技術要件

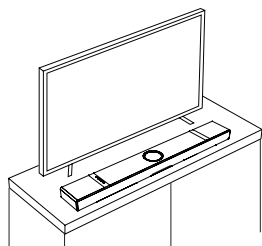
- ネットワーク規格: IEEE 802.11a/b/g/n/ac、IPv4、IPv6、
- 周波数帯域: デュアルバンド 2.4GHz / 5GHz



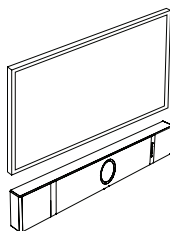
- 安定したストリーミング、特にハイレゾ音楽の場合は、5GHz Wi-Fiネットワークをお勧めいたします。
- ゲスト、オフィスまたはパブリックネットワークへの接続: オフィス、ホテル、ゲスト、およびパブリックネットワークには、XIOの接続を妨げる可能性のある追加のセキュリティまたは認証方法が備わっていることがよくあります。この種のネットワークを使用する場合は、すべての機能を許可する必要があります、そのため、ネットワーク管理者の助けが必要になる場合があります。

4.2 配置

XIOをテレビ台に置か、壁に取り付ける (壁への取り付け手順の章をご覧ください)。



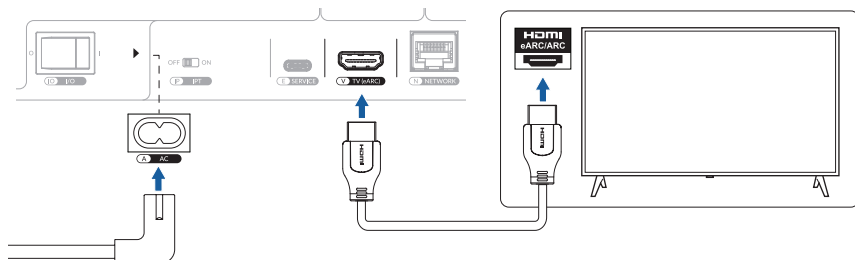
テレビ台の上



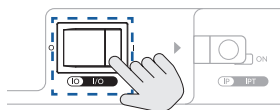
壁掛け

4.3 XIOを電源とテレビに接続する

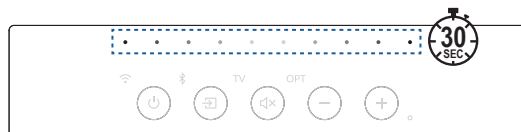
1. 電源ケーブルとHDMIケーブルをXIOに接続します。次に、HDMIケーブルを、テレビのeARC/ARCポートに接続します。



2. 電源ケーブルのプラグを電源ソケット/コンセントに接続します。
3. 電源スイッチ (IO) を押して、「I」 (オン) 位置にセットしてください。



4. XIOが起動するまで、約30秒間待ちます。このプロセス中に、ボリュームレベルインジケータが順番に点滅します。



4.4 オンボーディング

4.4.1 KEF Connectアプリのインストール

モバイル デバイスにKEF Connectアプリをインストールして、XIOをWi-Fiネットワークに「オンボーディング」します。

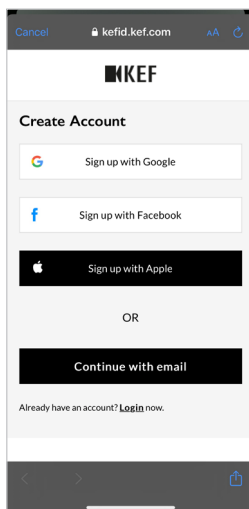
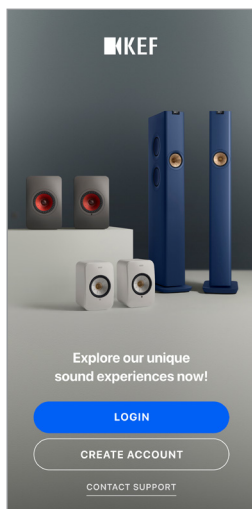
1. App StoreまたはGoogle Playストアで「KEF Connect」を検索して、iOS*またはAndroid**デバイスにKEF Connectアプリをダウンロードしてインストールします。



KEF CONNECT



2. デバイスでKEF Connectアプリを起動し、ユーザーアカウントを作成します。既存のFacebook、Google、またはAppleアカウントでログインするか、メールアドレスで新しいKEFアカウントを作成できます。

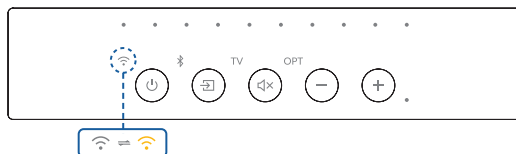


*iOS 14以上が必要です。最新の要件については、App Storeを参照してください (変更されることがあります)。

**Android 10以上が必要です。最新の要件については、Google Playを参照してください (変更となる場合があります)。

4.4.2 iOSデバイスを使用する

1. XIOをオンボーディングするネットワークにモバイル デバイスが接続されていることを確認します。
2. XIOのコントロール パネルのWi-Fiアイコンを確認してください。Wi-Fiアイコンがオレンジ/白で交互に点滅しているときは、使用開始する準備ができています。

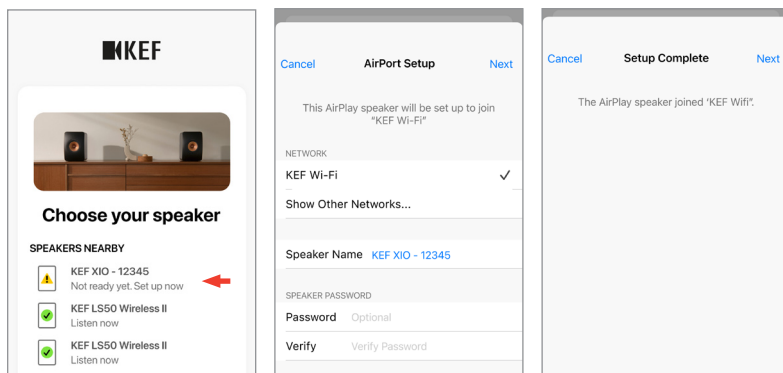


3. モバイル デバイスでKEF Connectアプリを起動してログインします。
4. 「Speakers nearby」(近くのスピーカー) で、「KEF XIO」を選択します。
まだ警告マーク(⚠)の付いたスピーカーは設定されていません。この警告マークの付いたスピーカーを選択して「オンボーディング」します。
チェックマーク(✓)の付いたスピーカーは使用できる状態にあります。このアイコンは、既にオンボーディングされているスピーカーか、またはケーブル経由でネットワークに直接接続されているスピーカーにおいて表示されます。
5. ローカルWi-Fiネットワークを選択します。「Next」(次へ) を押して、オンボーディングプロセスを開始します。

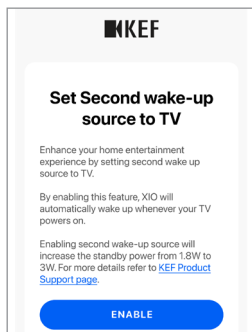
「Speaker name」(スピーカー名) をタップすることで、XIOの名前を変更できます。

6. オンボーディングプロセスは自動的に行われます。プロセスが完了したら「Done」(完了)をタップします。

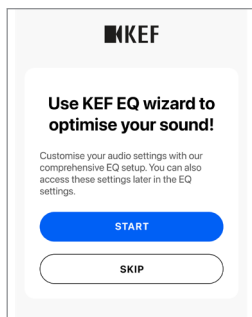
[ステップ 4-6]



7. 新しいバージョンが利用可能な場合は、ファームウェアの更新が必要になる可能性があります。アップデートが完了したら、「Next」(次へ)をタップします。
8. テレビへの2番目のウェイクアップソースを有効にすることもできます。そうすることで、テレビの電源が入るたびにXIOが自動的に起動します。「Enable」(有効にする)をタップして、この機能を有効にします。

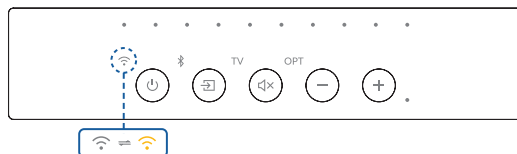


9. 最後に、KEF EQ Wizardを使用して、オーディオ設定をカスタマイズできます。「Start」(開始)をタップして、これを行います。



4.4.3 Androidデバイスを使用する

1. モバイル デバイスがローカルWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。
2. XIOのコントロール パネルのWi-Fiアイコンを確認してください。Wi-Fiアイコンがオレンジ/白で交互に点滅しているときは、使用開始する準備ができています。



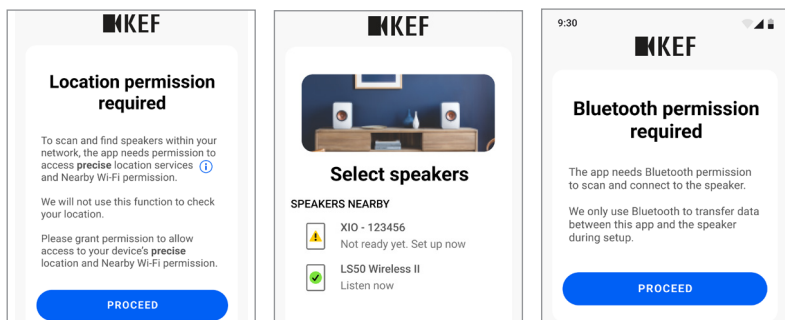
3. モバイル デバイスでKEF Connectアプリを起動してログインします。
4. 要求された際に、アプリによるデバイスの位置情報へのアクセスを許可します。
5. 「Speakers nearby」(近くのスピーカー) で、「KEF XIO」を選択します。

まだ警告マーク (⚠) の付いたスピーカーは設定されていません。

チェックマーク (✓) の付いたスピーカーは使用できる状態にあります。

6. 要求された際、アプリによるデバイスのBluetoothへのアクセスを許可します。

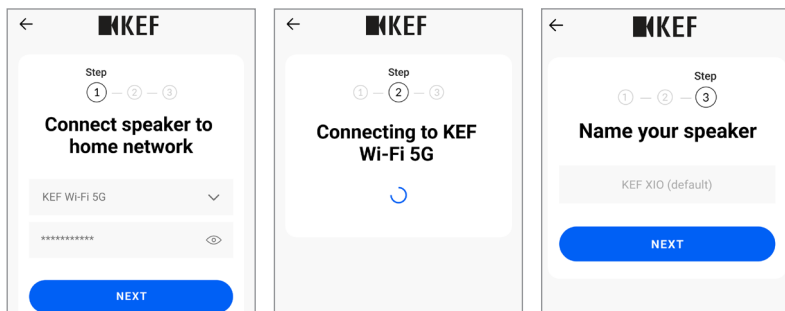
[ステップ 4-6]



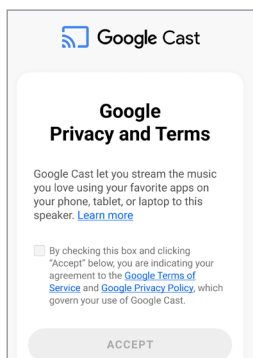
7. 「Choose a Wi-Fi network」(Wi-Fiネットワークを選択)をタップします。
8. ローカルWi-Fiネットワークを選択して、「Next」(次へ)をタップします。
9. ローカルWi-Fiネットワークのパスワードを入力して、「Next」(次へ)をタップします。
10. 接続プロセスは自動的に完了します。プロセスが完了したら、「Next」(次へ)をタップします。

必要に応じて、新しいスピーカー名を作成して、「Next」(次へ)をタップします。この名前は、Wi-Fi および Bluetooth接続に使用されます。

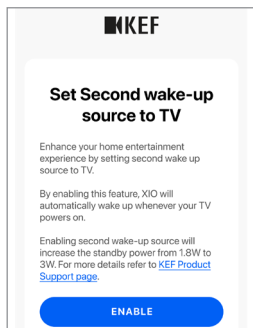
[ステップ 8-10]



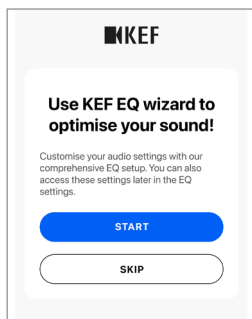
11. 新しいバージョンが利用可能な場合は、ファームウェアの更新が必要になる可能性があります。アップデートが完了したら、「Next」(次へ)をタップします。
12. Google Castを有効にするか、「Settings」(設定)で、後で設定します。



13. テレビへの2番目のウェイクアップソースを有効にすることもできます。そうすることで、テレビの電源が入るたびにXIOが自動的に起動します。「Enable」(有効にする)をタップして、この機能を有効にします。



- 14.最後に、KEF EQ Wizardを使用して、オーディオ設定をカスタマイズできます。
「Start」(開始)をタップして、これを行います。

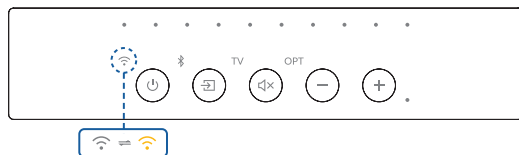


4.5 ネットワークなしのXIOの設定

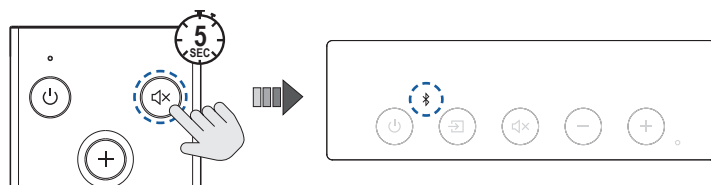
Wi-Fiネットワークが不安定な場合は、ネットワークを使用せずにXIOを設定いただくことも可能です。

警告!この場合、XIOの操作や機能、カスタマイズが制限されます。また、重要な機能アップデートも受け取ることができません。

1. XIOがセットアップモードになっていることを確認します。Wi-Fiアイコンがオレンジ/白で交互に点滅します。



2. XIOがBluetooth検出モードになるまで、リモコンのMuteボタンを押し続けます。



Wi-Fi機能が無効になりました。



Wi-Fi経由でXIOを再度設定する場合は、工場出荷時設定へのリセットが必要です。

4.6 壁への取り付け手順

4.6.1 取り付け

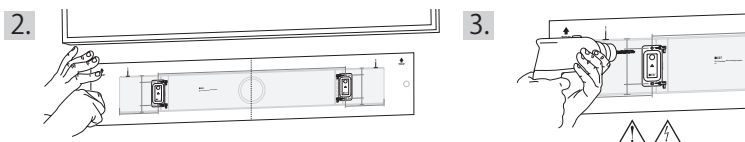
⚠ 警告!

- XIOを壁に取り付ける際は、電気ケーブル、水道管、ガス管、または構造上重要な梁を傷つけないことを必ずご確認ください。確認が取れない場合は、取り付けを行わないでください。
- XIOが設置される壁が平らで滑らかで垂直であることを確認してください。
- XIOを取り付ける壁に損傷がなく、取り付け箇所につき20kgの荷重に耐えられることを確認してください。
- 同梱されている取り付けキットは、コンクリート壁に適したものです。取り付けの前に、壁に適した設置材料について専門的なアドバイスを求め、必要に応じてそれらを交換してください。

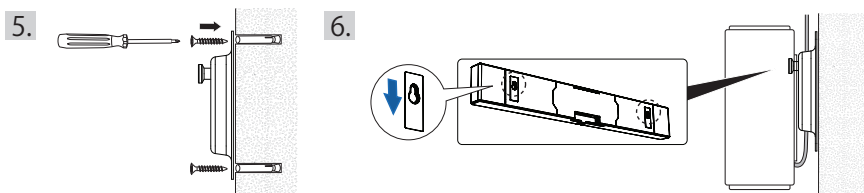
1. 取り付け場所を決定する際は、付属の壁取り付け用のテンプレートを使用してください。
2. テレビの下に壁掛けテンプレートをテープで固定します。水準器を使用して、テンプレートが水平になっていることを確認します。テンプレートに従って、XIOがテレビから少なくとも25mm (0.98インチ) 下にあることを確認してください。

備考: 最適なサウンドパフォーマンスを得るために、XIOの上に、オープンスペースを少なくとも100mm (3.9インチ) 残すことをお勧めします。

3. 壁取り付けテンプレートに従い、電気ドリルで壁に4つの穴を開けてください。



4. 壁取り付けテンプレートを取り外します。
5. ドリル穴に壁アンカーを挿入します。次に、壁ブラケットを壁に配置し、ブラケットの穴を通してネジをあけた穴にねじ込み、しっかりと固定してください。
6. 壁ブラケットの突き出た頭にXIOを掛けます。突き出たヘッドがXIOの背面にある取り付け穴にロックされていることを確認します。



ヒント: 電源ケーブルとHDMIケーブルがXIOの背面に正しく接続されていることを確認します。

HDMIケーブルをテレビに戻すために、壁とXIOの間に12mmのスペースが確保されています。

7. 「XIOを電源とテレビに接続する」という手順書に従って、設定を続けてください。「ケーブル管理」セクションの手順もご参照ください。

4.6.2 ケーブル管理

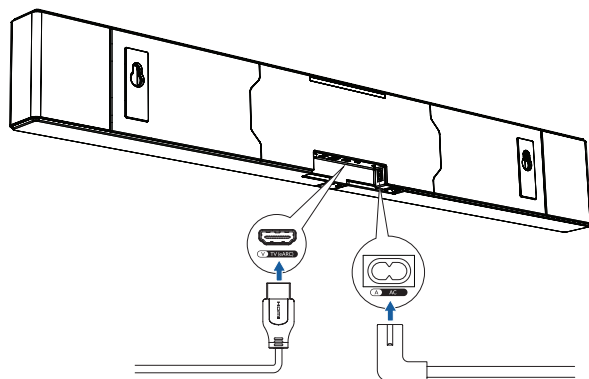


きれいに設置するためのヒント

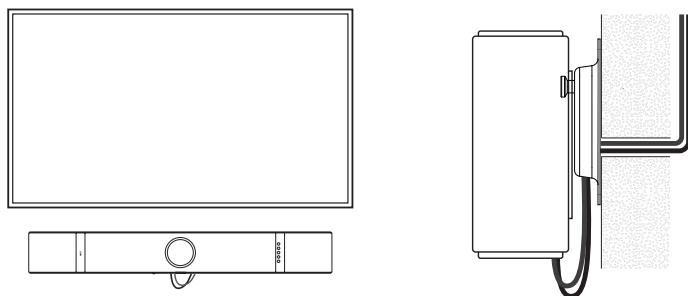
- KEF付属のHDMIケーブルを使用してください — 最大8K/60Hzの超高速HDMI認定と完全なeARCサポート。コンパクトで柔軟性があり、簡単にクリーンなルーティングが可能です。
- KEF付属のベルクロテープ (HDMIケーブルと電源ケーブルに巻き付けている) を使用して、緩んだケーブルをきちんと固定し、整理します。
- 壁面に配線用の開口部を作成するため、壁掛け用テンプレートの中央の穴を目印にしてください。開口部は直径6cm (2.4インチ) 以上を目安にしてください。(下図の青い円を参照)。これにより、ケーブルを壁に直接通して配線し、シームレスなすっきりとした設置が実現します。



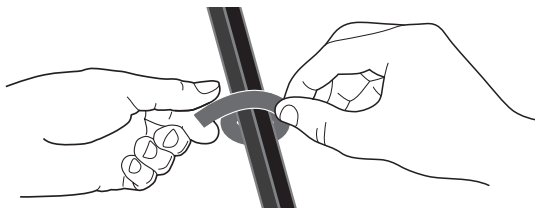
1. 電源ケーブルとHDMIケーブルをXIOに接続します。



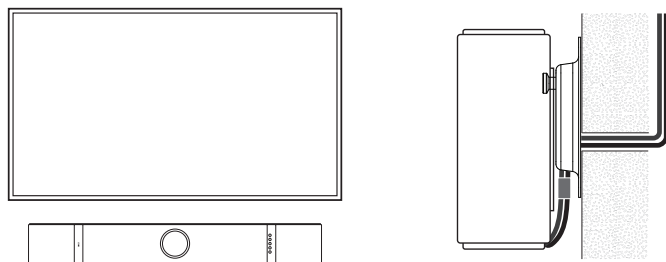
2. 取り付けられた壁ブラケットの突き出たヘッドにXIOを掛けます。接続されたケーブルは、壁とXIOとの間のスペースを通して配線し、壁の開口部に通すことができます。



3. KEF付属のベルクロテープを使用してケーブルを締めます。

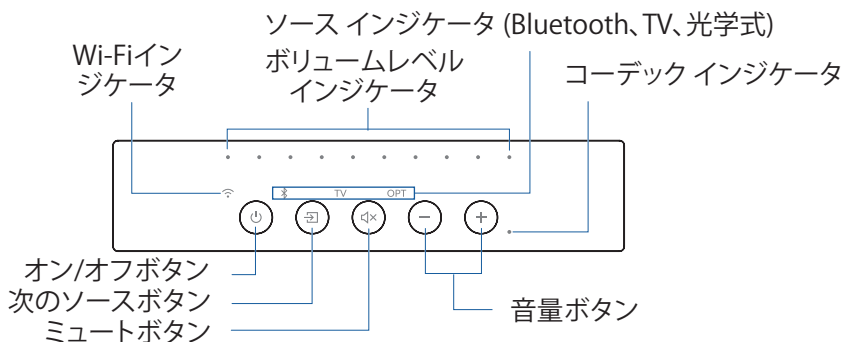


4. ケーブルを整理します。

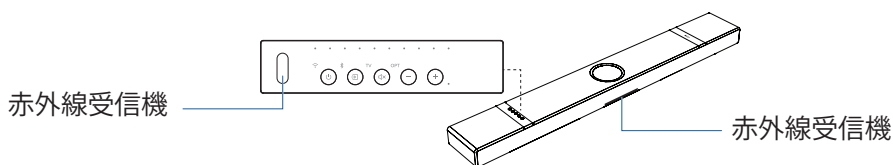


5. 接続、およびコントロール インターフェイス

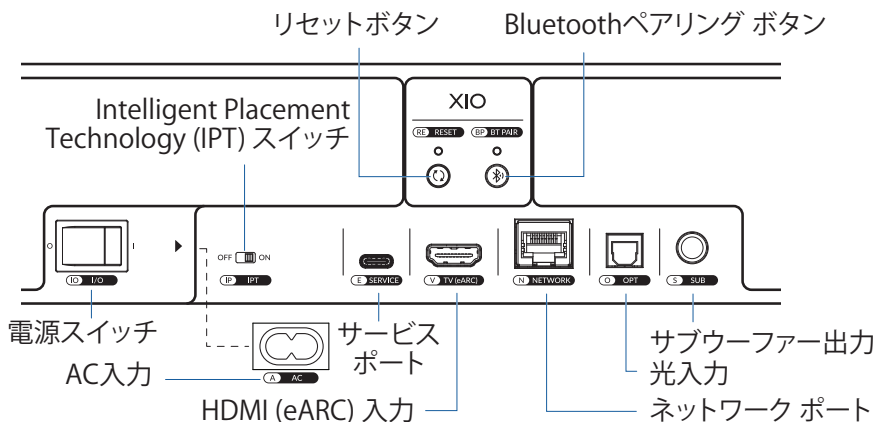
5.1 コントロール パネル



5.2 赤外線受信機

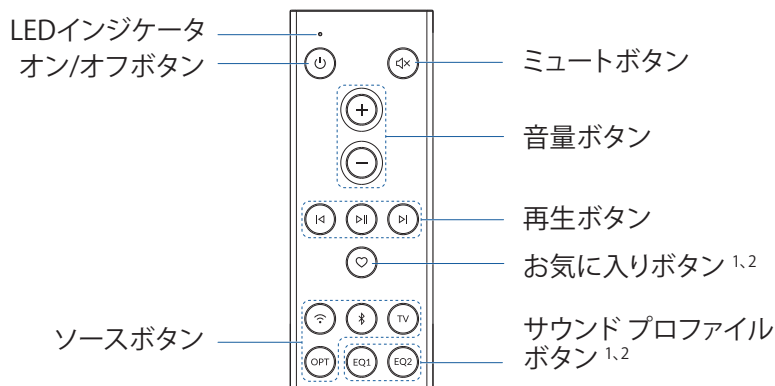


5.3 背面パネル



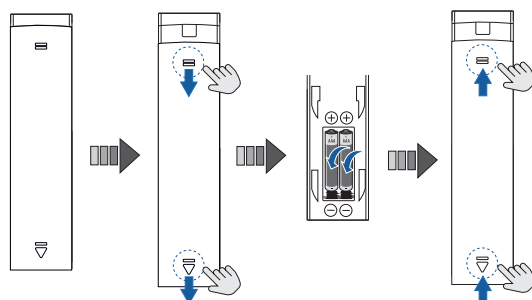
XIOは、ワイヤレス接続を介してKW2 RX Receiverと互換性があります。詳しくはKW2 RXレシーバーのユーザーマニュアルをご参照ください。KW2の入手可能性は国によって異なります。

5.4 リモコン



¹ お気に入りボタンは、デフォルトで「次のソースへ」に設定されています。EQ1はデフォルトでダイアログモードになっています。EQ2はデフォルトでナイトモードになっています。

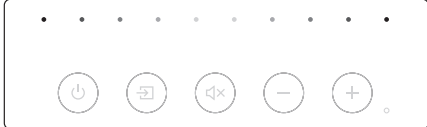
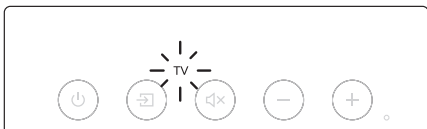
² EQ1、EQ2、お気に入りボタンは、KEF Connectアプリからカスタマイズできます。



- ご使用前に、単三電池2本を電池収納部に挿入してください。これを行うには、丸で囲まれた領域を押して、バッテリー収納部カバーをスライドさせて開閉します。
- リモコンを、IRレシーバーの1つに向けます。ご使用中に、リモコンとXIOの間に障害物がないようにしてください。
- バッテリーの持続時間は、ストレージの使用時間と使用状況によって異なります。パフォーマンスに一貫性がない、またはLEDインジケータが機能しなくなった場合は、新しいAAAアルカリ乾電池と交換してください。

5.5 基本的なLED表示

接続や動作の状態は、コントロールパネルのLEDインジケータの色やパターンで簡単に確認できます。

LED	ステータス	
	ボリュームレベルインジケータが順番に点滅します。	XIOが起動しています。
	Wi-Fiアイコンが白とオレンジで点滅します。	Wi-Fiネットワークに接続する準備ができました。KEF Connectアプリを起動してXIOを設定します。
	Wi-Fiアイコンが白色に点灯しています。	Wi-Fiネットワークに接続されています。
	TVアイコンが点滅しています。	テレビに接続しています。
	TVアイコンが白色に点灯しています。	TVに接続しました。
	Bluetoothアイコンが脈動しています。	Bluetooth検出モードで、Bluetoothデバイスとペアリングする準備ができています。
	Bluetoothアイコンが白色に点灯しています。	Bluetoothデバイスに接続されました。

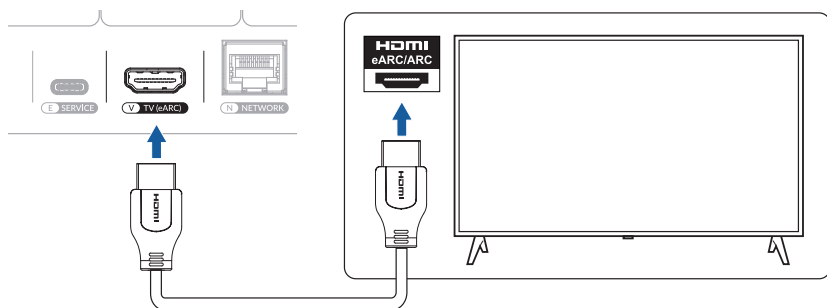
LED	ステータス
	光入力アイコンが白色に点灯しています。 XIOは光入力モードです。
	ミュートアイコンが点滅しています。 XIOはミュートされています。
	コーデック インジケータが点灯します。 青:Dolby Atmos オレンジ:DTS:X
	ソースボタンとボリューム ダウン ボタンが交互に点滅しています。 ファームウェアの更新が進行中です。ファームウェアのアップデートが完了するまで、電源ケーブルを抜かないでください。

6. テレビからオーディオを再生する

XIOは、テレビからのHDMI eARC (Enhanced Audio Return Channel) 出力との互換性があり、1本のHDMIケーブルを介して一元的なコントロールが実現します。

6.1 HDMIケーブル接続

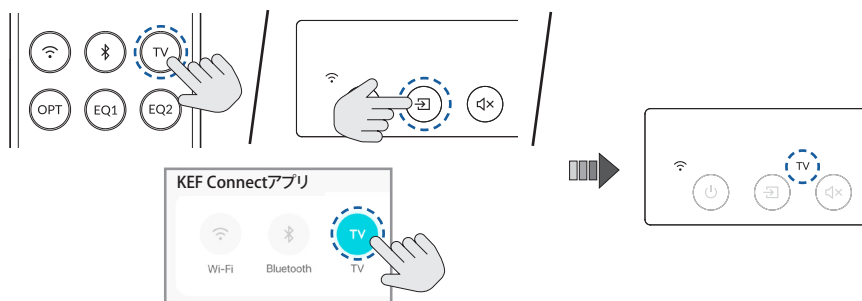
テレビのHDMI出力ポートとXIOの背面パネルにあるテレビeARCポート (V) をHDMIケーブルで接続します。



- テレビの設定で、HDMI 設定で HDMI CECをオンにします。
- メーカーによってHDMI接続の名前が異なる場合があります (例: Samsungの場合はAnynet+, LGの場合はSimplink)。詳細については、テレビのユーザーマニュアルをご参照ください。

6.2 TVモードを選択する

1. コントロールパネル、リモコン、または、KEF Connect アプリを介してソースをテレビに切り替えます。接続が確立されると、TVアイコンが白に点灯します。



- HDMIケーブルがテレビのeARCポートに接続されていることと、テレビ設定でHDMI CEC接続が有効になっていることを確認してください。詳しくはTVのユーザーマニュアルを参照してください。
2. テレビでコンテンツを再生し、XIOの体験をお楽しみください。

6.3 再生コントロール

すべての再生コントロールをテレビのリモコンで行うことができます。

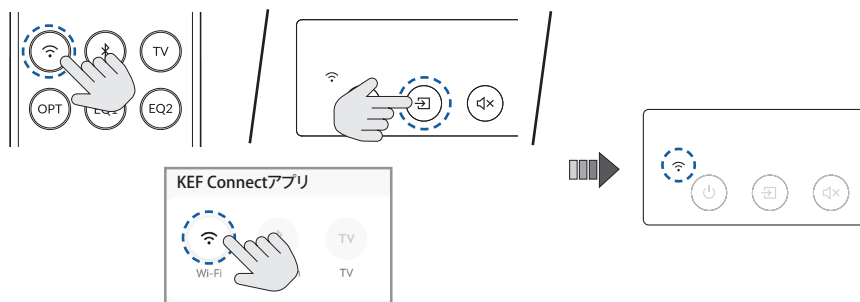
7. Wi-Fi接続でオーディオを再生する

7.1 Wi-Fi接続

モバイル デバイスにKEF Connectアプリをインストールして、XIOをWi-Fiネットワークに「オンボーディング」します (オンボーディングの章を参照)。

7.2 Wi-Fiモードを選択する

1. コントロールパネル、リモコン、またはKEF Connectアプリを介して、ソースをWi-Fiに切り替えます。接続が確立されると、Wi-Fi アイコンが白く点灯します。

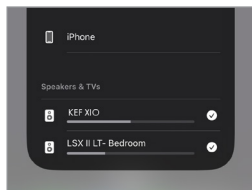


2. モバイル デバイスでコンテンツを再生し、XIOで体験をお楽しみください。

7.3 マルチルームストリーミング

7.3.1 AirPlay

Apple AirPlayを使用すると、XIOをマルチルーム対応のワイヤレス音楽システムの一部として拡張でき、iOSデバイスから操作することができます。同じネットワークに複数のAirPlayスピーカーが接続されている場合は、同じオーディオ出力を同時に再生するペアを選択します。



スピーカーの音量は、個別またはグループでまとめてコントロールできます。

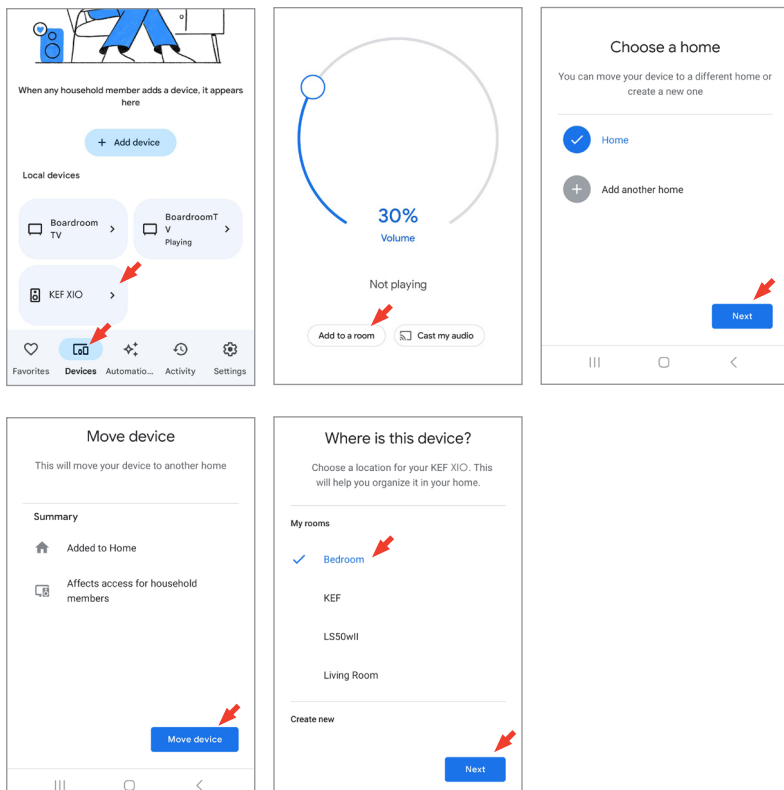
注:旧型のAirplay (Airplay 1) スピーカーは、マルチルーム ストリーミングに対応していません。

詳細については、[Apple](#)にアクセスしてください。

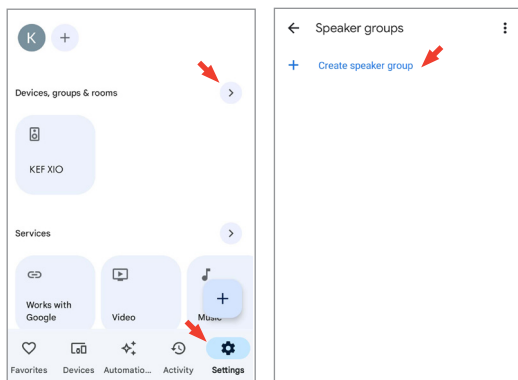
7.3.2 Google Cast

スピーカーとGoogle Castデバイスをグループ化して、ご自宅内全体で音楽を同期できます。

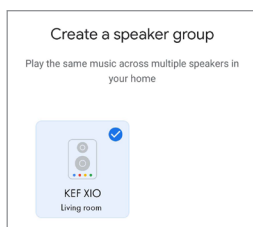
1. Google Castの要件に同意していることを確認してください。
2. モバイル デバイスがスピーカーと同じWi-Fiネットワークに接続されているか、または、同じアカウントにリンクされているかを確認してください。
3. Google Homeアプリを開きます。
4. アプリの指示に従って、「KEF XIO」を「Home」(ホーム)に追加します。



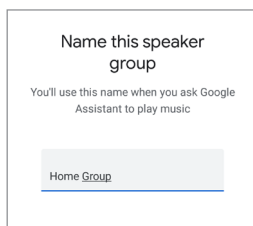
5. 「Settings」(設定)をタップして、「Devices, groups & rooms」(デバイス、グループ、ルーム) セクションの「>」アイコンをタップします。



6. グループに追加する各デバイス (スピーカーのセットを含む) をタップします。選択した各デバイスの横にチェックマークが表示されます。



7. 「Next」(次へ)をタップする
8. グループ名を入力します。



9. 「Save」(保存)をタップします。

7.4 モバイル デバイスを利用した音声コントロール

7.4.1 Siri

iOSモバイルデバイスがXIOに音楽をストリーミングしている間、Siriを使用して再生操作(例:曲のスキップ、音量レベルの調整)を行うことができます。



7.4.2 Google Assistant

Android モバイルデバイスがXIOに音楽をストリーミングしている間、Google アシスタントを使用して再生操作(例:曲のスキップ、音量レベルの調整)を行うことができます。

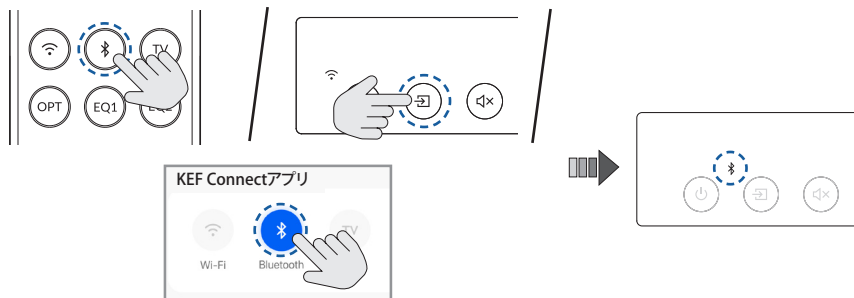


8. Bluetooth接続でオーディオを再生する

Bluetooth接続を介して、Bluetoothデバイス（コンピュータなど）をXIOとペアリングできます。

8.1 Bluetoothモードを選択する

- コントロールパネル、リモコン、またはKEF Connectアプリを介して、ソースをBluetoothに切り替えます。接続が確立されると、Bluetoothアイコンが白く点灯します。

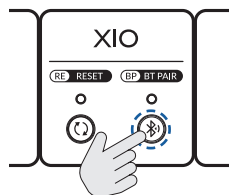


8.2 Bluetoothペアリング

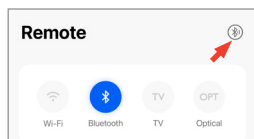
- Bluetoothモードでは、コントロールパネルのBluetoothアイコンを確認します。ゆっくりと点滅している場合、XIOは検出モードにあり、Bluetoothデバイスとペアリングする準備ができています。



Bluetoothアイコンが点灯したままの場合、XIOはすでにBluetoothデバイスとペアリングされています。接続されているBluetoothデバイスを切断するには、背面パネルのBluetoothペアリングボタン（BP）を1回押します。新しいBluetoothデバイスとペアリングする準備ができると、Bluetoothアイコンが点滅します。



または、KEF Connectアプリのリモコンの右上隅にあるBluetoothペアリングアイコンを押して、ペアリングされたデバイスを切断してください。



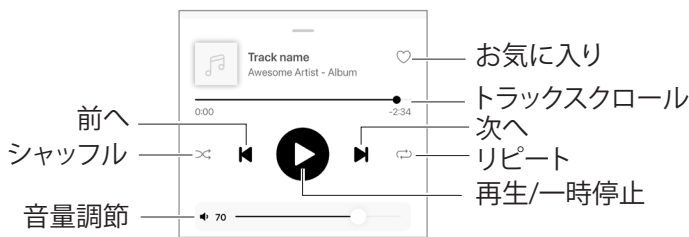
2. デバイスのBluetooth機能をオンにし、ペアリング対応デバイスのリストから「KEF XIO」(またはXIO用に作成した名前) を選択します。

Bluetoothペアリングが完了すると、Bluetoothアイコンは点灯したままになります。

- i** XIOは、直前にペアリングされたBluetoothデバイスを記憶しています。Bluetoothモードを選択すると、XIOは直前にペアリングしたデバイス(近くにある場合) と、自動的に接続します。

8.3 再生コントロール

KEF Connectアプリでは、以下のコントロール要素を使用して、再生コントロールを行います。音量調節、再生/一時停止、前後のトラックへの移動機能も、リモコンで操作できます。

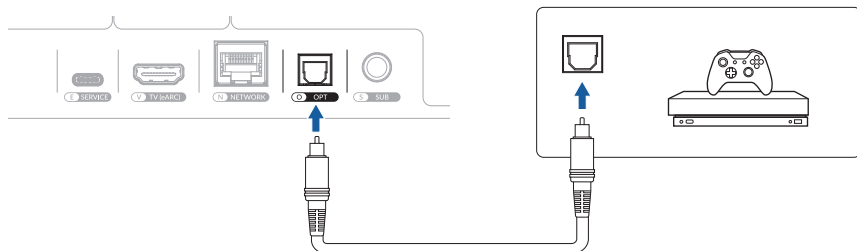


9. 光接続によるオーディオの再生

光出力のあるデバイス（テレビやゲーム機など）を光ケーブルでXIOに接続できます。

9.1 光ケーブル接続

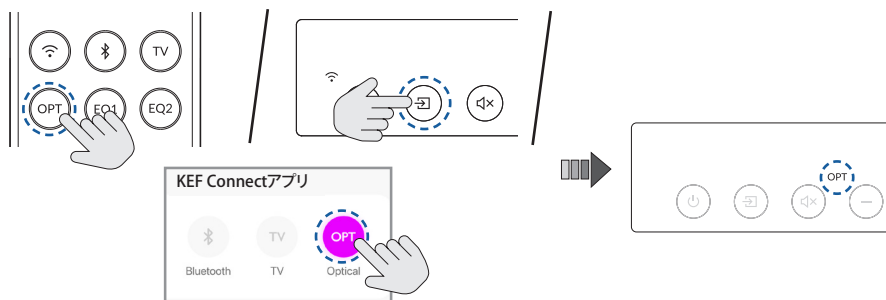
デバイスの光出力と背面パネルの光入力 (O) を光ケーブルで接続します。



デジタルオーディオをPCM形式で出力するようにテレビが設定されていることを確認してください。詳細については、テレビのユーザーマニュアルを参照してください。

9.2 光入力モードの選択

1. コントロールパネル、リモコンまたはKEF Connectアプリから、ソースを光入力に切り替えます。接続が確立されると、OPTアイコンが白に点灯します。



2. デバイスでコンテンツを再生し、XIO体験をお楽しみください。

9.3 再生コントロール

すべての再生コントロール（音量の調整を除く）は、接続されたデバイスで行う必要があります。

10. KEF Connectアプリの使用

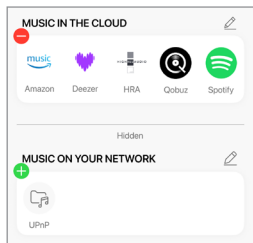
10.1 ホーム



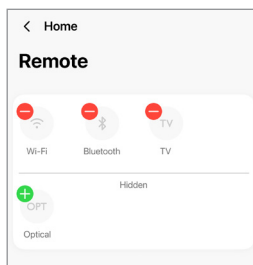
10.1.1 ホーム画面の編集

ホーム画面を編集して、使用頻度の高いタイル (クラウド内の音楽など) またはボタンを表示または非表示にすることができます。

1. アプリの右上にある編集アイコン (✎) をタップします。
2. 「+」または「-」記号をタップするか、ドラッグ アンド ドロップしてタイルを表示または非表示にします。

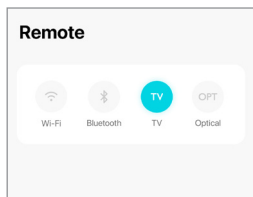


3. タイルの右上にある編集アイコン (✎) をタップします。
4. 「+」または「-」記号をタップするか、ドラッグ アンド ドロップして、タイル内のボタンを表示または非表示にします。



10.2 リモコン

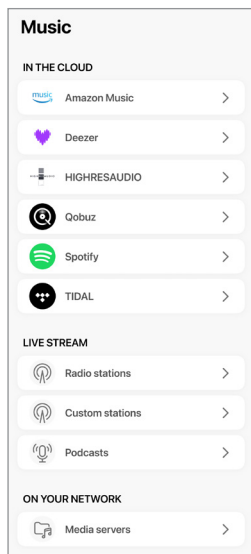
- 「リモート コントロール」の下ボタンを使用して、その特定のソースからXIOを直接オンにしたり、オーディオソースを変更したりします。



- XIOをオフにするには、アクティブなソースボタンをタップします。

10.3 音楽コンテンツ

KEF Connectアプリを使用すると、音楽ストリーミングサービス、インターネットラジオステーション、ポッドキャストから音楽にアクセスして再生できます。

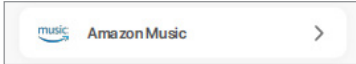


10.3.1 音楽ストリーミング サービスから音楽を再生する

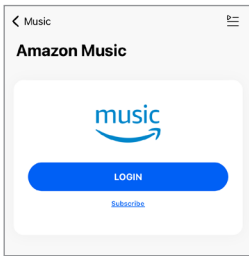
10.3.1.1 Amazon Music



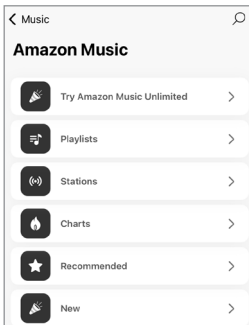
1. 音楽をストリーミングするには、KEF Connectアプリの「Music in the Cloud」(クラウド内の音楽)の「Amazon Music」をタップします。



2. Amazon Musicアカウントにログインします。



3. 音楽を参照して再生し、ストリーミングを開始します。



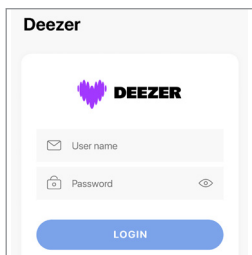
10.3.1.2 Deezer



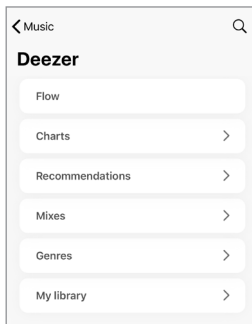
1. 音楽をストリーミングするには、KEF Connectアプリの「Music in the Cloud」(クラウド内の音楽) の「Deezer」をタップしてください。



2. Deezerアカウントにログインします。



3. 音楽を参照して再生し、ストリーミングを開始します。



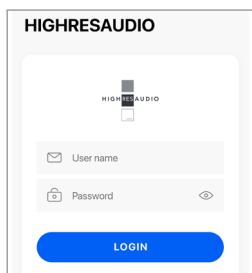
10.3.1.3 HIGHRESAUDIO



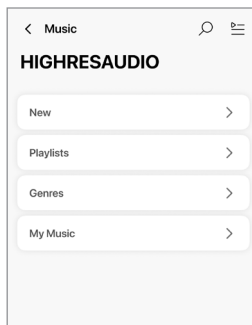
1. 音楽をストリーミングするには、KEF Connectアプリの「Music in the Cloud」(クラウド内の音楽)にある「HIGHRESAUDIO」をタップしてください。



2. HIGHRESAUDIOアカウントにログインします。



3. 音楽を参照して再生し、ストリーミングを開始します。



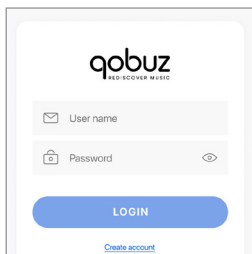
10.3.1.4 Qobuz



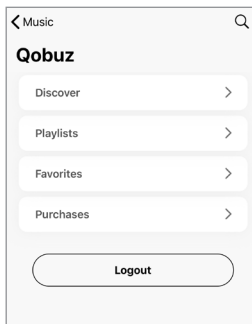
1. 音楽をストリーミングするには、KEF Connectアプリの「Music in the Cloud」(クラウド内の音楽)の「Qobuz」をタップします。



2. Qobuzアカウントにログインします。



3. 音楽を参照して再生し、ストリーミングを開始します。



10.3.1.5 Spotify



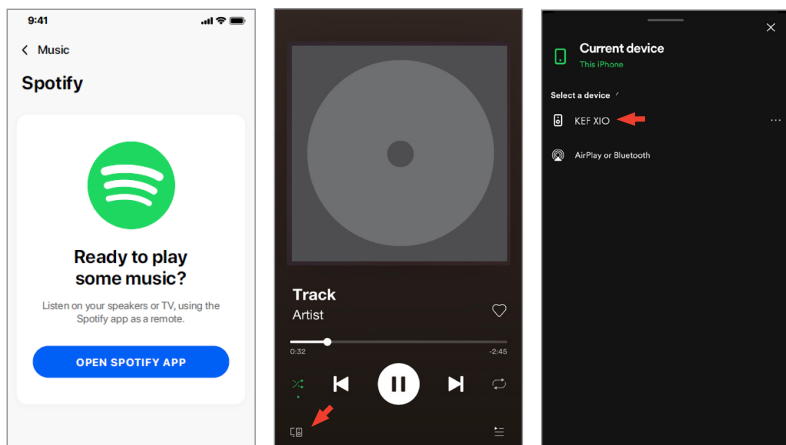
1. 音楽をストリーミングするには、KEF Connectアプリの「Music in the Cloud」(クラウド内の音楽) の「Spotify」をタップします。



デバイスのSpotifyアプリにて音楽をXIOにストリーミングするように求められます。

2. Spotifyアプリで再生する音楽を参照して、選択してください。
3. 再生画面の下部にあるデバイスアイコン (📱) をタップします。
4. 選択メニューから「KEF XIO」(またはXIO用に作成した名前) を選択してストリーミングを開始します。

[ステップ 2-4]



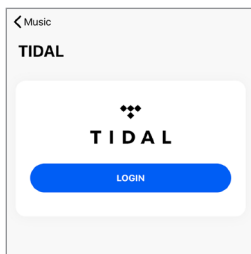
10.3.1.6 TIDAL



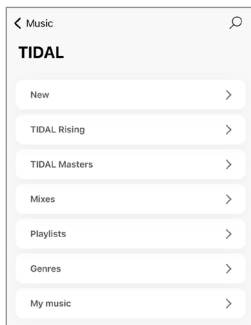
1. 音楽をストリーミングするには、KEF Connectアプリの「Music in the Cloud」(クラウド内の音楽)の「TIDAL」をタップします。



2. TIDALアカウントにログインします。

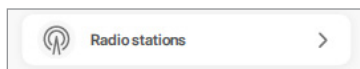


3. 音楽を参照して再生し、ストリーミングを開始します。

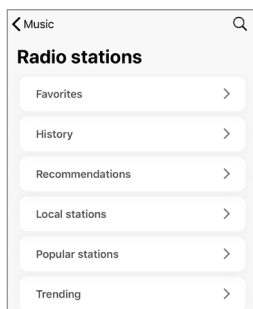


10.3.1.7 インターネットラジオ

1. インターネットラジオにアクセスするには、KEF Connectアプリの「Live Stream」(ライブストリーム) の「Radio stations」(ラジオステーション)をタップしてください。

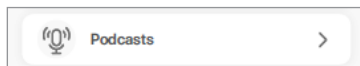


2. ラジオステーションを参照して再生し、ストリーミングを開始します。

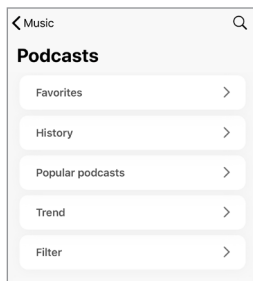


10.3.1.8 Podcast

1. ポッドキャスト コンテンツにアクセスするには、KEF Connectアプリの「Live Stream」(ライブストリーム) の「ポッドキャスト」をタップします。



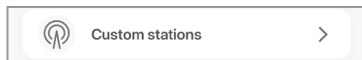
2. ポッドキャストを参照して再生し、ストリーミングを開始します。



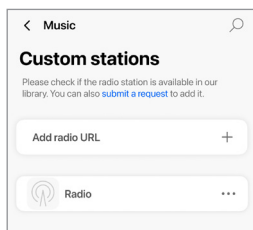
10.3.1.9 カスタムステーション

インターネットラジオでラジオステーションが見つからない場合は、簡単にアクセスできるように登録できます。

1. カスタムステーションにアクセスするには、KEF Connectアプリの「Live Stream」(ライブストリーム)の「Custom Stations」(カスタムステーション)をタップします。

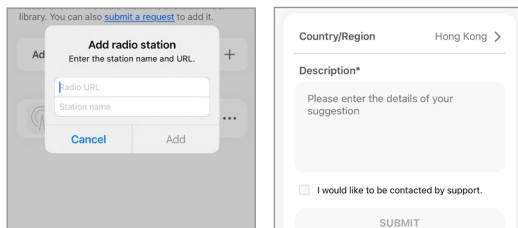


2. 「Add radio ULRL」(ラジオURLを追加)をタップします。

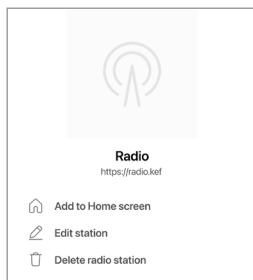


3. ラジオステーションのURLと局名を入力し、「Add」(追加)をタップします。登録されたラジオステーションは、簡単にアクセスできるようにカスタムステーションに保存されます。

または、「Submit a request」(リクエストを送信する)オプションをタップして、追加リクエストを送信します。



4. 必要に応じて、カスタムステーションをタップして編集します。



10.3.2 再生コントロール

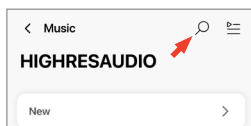
以下の機能を使用して、再生や動作をコントロールできます。これらの機能は、すべての音楽ソースで利用できるわけではありません。コントロール インターフェイスに若干の違いがある可能性があることに注意してください。

10.3.2.1 再生画面



10.3.2.2 検索

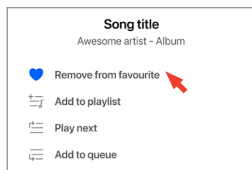
検索アイコン (🔍) をタップして、現在の音楽ソースでアーティスト、アルバムまたは曲を探します。



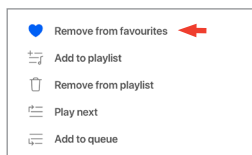
10.3.2.3 お気に入り

- お気に入りの選択/選択解除

再生画面で、オプション アイコン (...) をタップします。続いて、「Add to favourites」(お気に入りに追加) または「Remove from favourites」(お気に入りから削除) を選択して、アイテム (音楽、ポッドキャスト、ラジオステーション) をお気に入りとして選択、または選択解除します。



アイテム (トラック、アルバム、プレイリストなど) の横にあるオプション アイコン (...) をタップするか、アイテムを長押しして「Add to favourites」(お気に入りに追加) または「Remove from favourites」(お気に入りから削除) を選択します。



- お気に入りにアクセスする

現在の音楽ソースのお気に入りを表示するには、メインメニューの「Favourites」(お気に入り) をタップします。

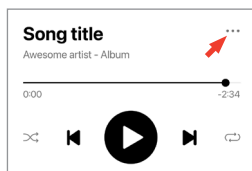


10.3.2.4 キューを再生する

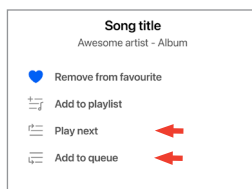
トラックをキューに追加すると、そのトラックは、現在再生中のトラックの後に再生されます。キューは、永続的なものではなく、保存はできません。

• キューへのトラックの追加

1. 再生画面からオプションアイコン(...) をタップします。



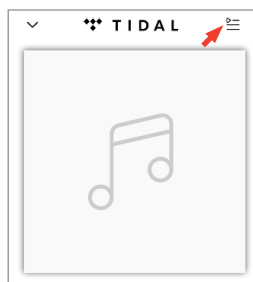
2. 「Add to queue」(キューに追加)を選択して、トラックをキューの最後に追加します。または、「Play next」(次に再生)を選択して、トラックを次の曲として追加します。



選択内容に応じて、アーティストのすべてのトラック、アルバムのすべてのトラック、またはプレイリストのすべてのトラックをキューに追加することもできます。

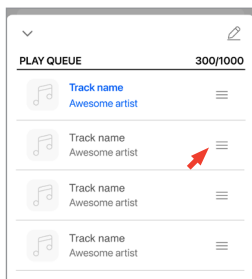
• 現在のキューを表示する

再生画面から、右上のキューアイコン (≡) をタップします。



• キューを編集する

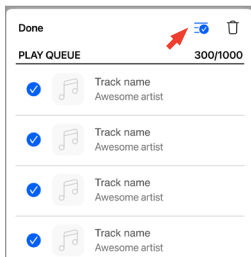
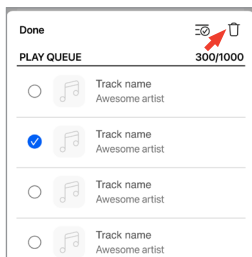
1. 再生順序を編集するには、トラックの右側にある3本線 (≡) を押したまま、トラックをキューの上下にドラッグします。



2. キューからトラックを削除するには、右上の編集アイコン (✎) をタップします。



3. キュー内のトラックを選択し、ゴミ箱アイコン (🗑) をタップしてキューから削除します。複数のトラックを選択して削除したり、「すべて選択」アイコン (☑) をタップして、すべてのトラックを一度に選択することもできます。



10.3.2.5 プレイリスト

プレイリストは、お好みの順序で再生できるトラックのリストです。プレイリストを後で聴くために保存することができます。

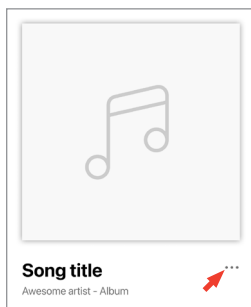
- プレイリストを使用する

現在の音楽ソースで、メインメニューの「Playlists」(プレイリスト) をタップします。

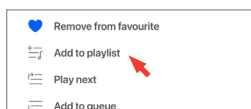


- プレイリストを作成する

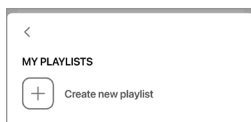
1. トラックのリストまたは再生画面から、右側のオプション アイコン (...) をタップします。



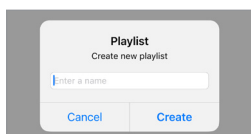
2. 「Add to playlist」(プレイリストに追加)をタップします。



3. 「Create new playlist」(新しいプレイリストを作成)をタップします。

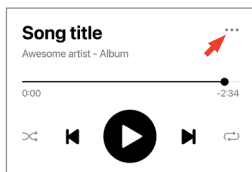


4. プレイリストの名前を作成して、「Create」(作成)をタップします。

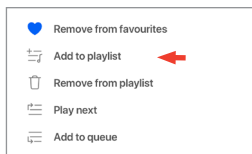


- プレイリストへトラックを追加する

1. トラックのリストまたは再生画面から、右側のオプションアイコン (...) をタップします



2. 「Add to playlist」(プレイリストに追加)をタップします。

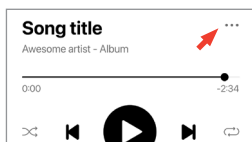


3. トラックを追加するプレイリストを選択します。

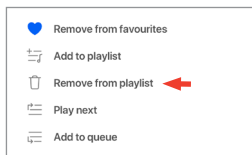
i 選択内容に応じて、アーティストのすべてのトラック、またはアルバムのすべてのトラックをプレイリストに追加することもできます。

- プレイリストを編集する

1. 削除するトラックの再生画面で、オプションアイコン (...) をタップします。

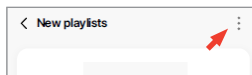


2. 「Remove from playlist」(プレイリストから削除)をタップします。

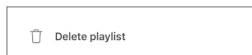


- プレイリストを削除する

1. プレイリスト内の右上隅にあるオプションアイコン (::) をタップします。



2. 「Delete playlist」(プレイリストを削除)をタップします。



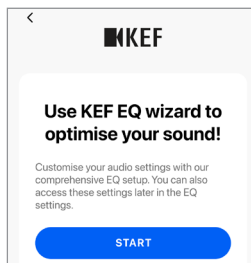
10.4 イコライゼーション

最適な音響効果を得るためには、リスニングエリアに応じて音響調整を行ってください。

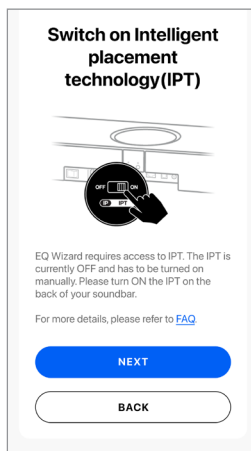
10.4.1 EQウィザード

この機能は、包括的なEQ設定でオーディオ設定をカスタマイズするのに役立ちます。

1. 「Start」(開始)をタップして、EQウィザードを開始します。



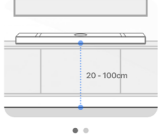
2. 背面パネルの Intelligent Placement Technology (IPT) スイッチをオンにします。これにより、XIOが部屋内の位置を検出するため、EQ設定を最適化できるようになります。次に「Next」(次へ)をタップします。



3. 画面の指示に従って、EQ設定を続行します。

How high is your soundbar?

How to measure on a TV cabinet



The distance from the floor to the bottom of the soundbar should be between 20cm and 100cm. Avoid placement outside of this range.

20cm 60cm 100cm

NEXT

What is your room size?

Less than 20m²

Between 20m² and 40m²

Greater than 40m²

NEXT

BACK

Do you want to set up a subwoofer?

SET UP NOW

SKIP

BACK

To ensure your subwoofer outputs sound, please complete the setup. You can configure it later in EQ settings

Select your subwoofer



KEF KC62



KEF KF92/KC92



KEF Kube 8b/8MIE



KEF Kube 10b/10MIE



KEF Kube 12b/12MIE



KEF Kube 15 MIE



KEF T2 Subwoofer

+

Other

On the back of your subwoofer

► Enable LFE mode by turning the cross-over dial to LFE, OR selecting LFE using the MODE switch (dependent on KEF subwoofer model)

► Set the Volume/Gain to 12 o'clock



Note:
The settings provided by KEF will provide excellent integration in most setups. Further adjustments can be made using the in-app settings, allowing to fine-tune the system for your room and/or personal taste.

NEXT

Step 1 - 2 - 3

XIO orientation



XIO is on a TV cabinet.

NEXT

Step 1 - 2 - 3

Calibration in progress



Calibration may take up to 45 seconds

Name your profile

You can rename it later in EQ settings.

Profile name

SAVE



Calibration Complete

Your speaker is now calibrated.

DONE

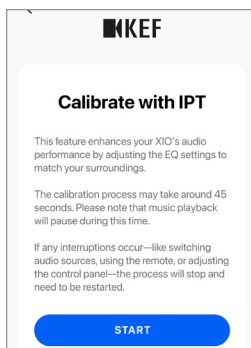
10.4.2 IPTで校正する

この機能は、リスニング環境に合わせてEQ設定を自動的に調整し、XIOのオーディオパフォーマンスを向上させます。

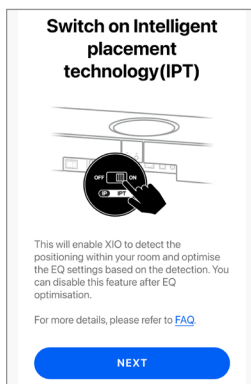
キャリブレーションプロセスには約45秒かかり、その間にオーディオ出力が一時停止されます。

オーディオソースの切り替え、リモコンの使用、コントロールパネルの調整など、中絶が発生した場合、プロセスは停止し、再起動する必要があります。

1. 「Start」(開始)をタップして、IPTキャリブレーションを開始します。



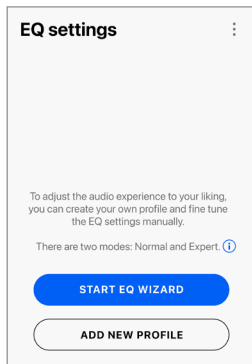
2. 背面パネルの Intelligent Placement Technology (IPT) スイッチをオンにします。これにより、XIOが部屋内の位置を検出するため、EQ設定を最適化できるようになります。次に「Next」(次へ)をタップします。



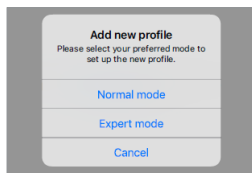
3. 画面の指示に従って、キャリブレーションを続行します。

10.4.3 ノーマル モード

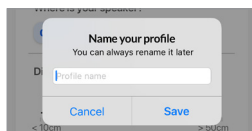
1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にあるEQ設定アイコン () をタップします。
2. 「Add new profile」(新しいプロフィールを追加) をタップします。「Start EQ Wizard EQ」(ウィザードの開始) をタップして、設定プロセスを開始することもできます (EQ Wizard (EQウィザード) の章をご覧ください)。



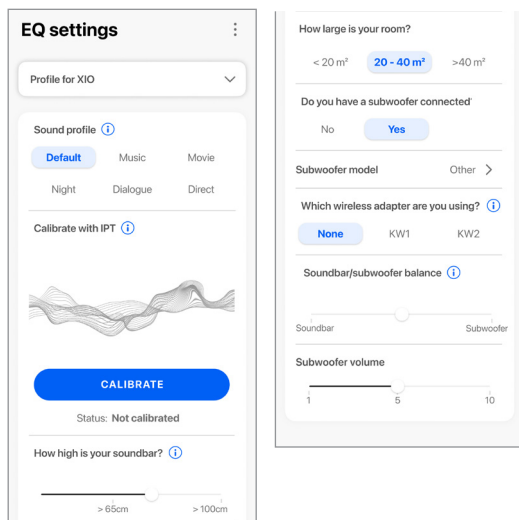
3. 「Normal mode」(通常モード)を選択します。



4. 新しいプロフィール名を作成して、「Save」(保存)をタップします。



5. リスニング エリアに応じて設定を調整してください。



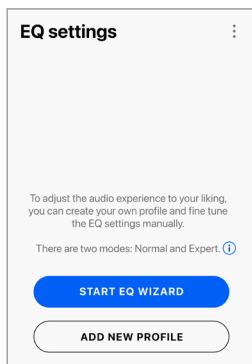
- ・ サウンド プロファイル (デフォルト/音楽/映画/ナイト/会話/ダイレクト)
- ・ IPTによる校正 (IPTによる校正の章を参照)
- ・ サウンドバーの高さはどれくらいですか?(65cm以上/100cm以上)
- ・ 部屋の広さはどれくらいですか?($<20\text{m}^2$ / $20\sim40\text{m}^2$ / $>40\text{m}^2$)
- ・ サブウーファーは接続されていますか (いいえ/はい)
- ・ サブウーファーモデル
- ・ どのワイヤレス アダプタを使用していますか?(該当なし/KW1*/KW2*)
- ・ サウンドバー/サブウーファーのバランス
- ・ サブウーファーの音量 (1～10)

6. 設定が終わったら「Save」(保存)をタップします。

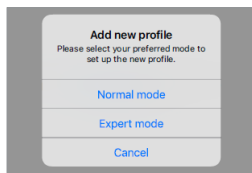
*KW1とKW2を同時に選択することができます。KW1は、日本での販売はございません。KW2の入手可能性は国によって異なります。

10.4.4 エキスパート モード

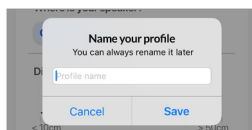
1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にあるEQ設定アイコン () をタップします。
2. 「Add new profile」(新しいプロフィールを追加) をタップします。「Start EQ Wizard EQ」(ウィザードの開始) をタップして、設定プロセスを開始することもできます (EQ Wizard (EQウィザード) の章をご覧ください)。



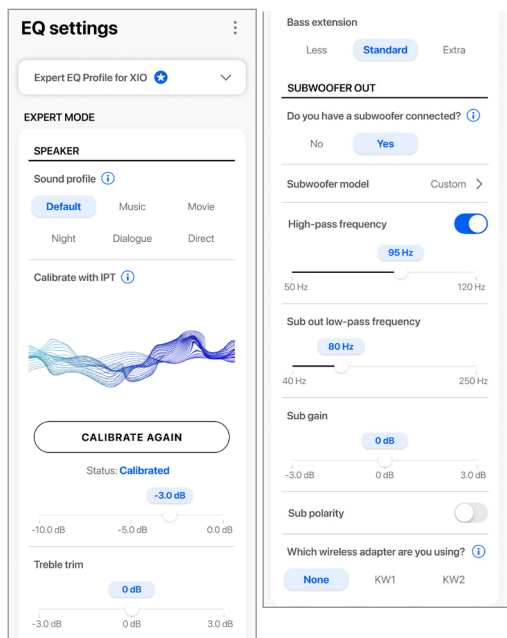
3. 「Expert mode」(エキスパート モード) を選択します。



4. 新しいプロフィール名を作成して、「Save」(保存)をタップします。



5. エキスパート モードでは、EQ環境設定をより正確に設定できます。リスニングエリアに応じて設定を調整してください。



- ・ サウンド プロファイル (デフォルト/音楽/映画/ナイト/会話/ダイレクト)
- ・ IPTによる校正 (IPTによる校正の章を参照)
- ・ 高音トリム (-3.0dB～3.0dB)
- ・ 低音エクステンション (Less (ひかえめ) / Standard (標準) / Extra(エクストラ))
- ・ サブウーファー接続 (はい/いいえ)
- ・ サブウーファーモデル
- ・ ハイパス周波数 (オン/オフ、50Hz～120Hz)
- ・ サブ出力ローパス周波数 (40Hz～250Hz)
- ・ サブゲイン (-3.0dB～3.0dB)
- ・ サブ極性 (オン/オフ)
- ・ どのワイヤレス アダプタを使用していますか?(該当なし/KW1*/KW2*)

*KW1とKW2を同時に選択することができます。KW1は日本での販売はございません。KW2の入手可能性は国によって異なります。

10.4.5 設定を理解する

サウンドプロファイル:

- ・ **デフォルト**:ほとんどのシナリオに適した多用途の設定で、音楽と映画の両方のサウンドのバランスが取れています。
- ・ **音楽**:音楽のサウンドを最適化して、クリアなディテールと最小限のエフェクトで、バランスのとれた自然なオーディオを提供します。
- ・ **ムービー (映画)**:会話を強化して、サウンド ステージを拡大し、インパクトのある効果を強調することで、映画体験を強化します。
- ・ **ナイト**:ダイナミックレンジを圧縮することで、柔らかな音を強調し、大きな音を抑制。深夜の視聴時にも周囲を気にせず、クリアでバランスの取れた音質を実現します。
- ・ **会話**:音声の明瞭度を高めるため、声の周波数を強調し背景ノイズを低減。これにより、話し言葉の理解が不可欠なテレビ番組、ドキュメンタリー、ニュース番組に最適です。
- ・ **ダイレクト**:仮想化や拡張なしで、オーディオを出力します。2チャンネルの音楽の場合、サウンドは2つのスピーカーからのみ再生されます。

部屋の広さ (エキスパートモード:低音エクステンション):この設定は、スピーカーの低音の伸びを調整します。選択した部屋が大きいほど、ロールオフ ポイントは低くなります。

サウンドバー/サブウーファースのバランス:これにより、サウンドバーとサブウーファースの間の低音出力をコントロールします。スライダーを「サブウーファース」に近いほうに動かすと、低音出力のほとんどがサブウーファースで処理されます。

ハイパス周波数:設定値を上回る周波数は、サウンドバーによって再生されます。

サブアウト ローパス周波数:設定値以下の周波数はサブウーファースが処理します。これにより、サウンドバーとサブウーファースの統合性を高め、全体的なレスポンス特性に落ち込みやピークが生じないように、ハイパス周波数と重なるように調整できます。

サブゲイン:これにより、サブウーファースへの信号レベル出力が変化します。

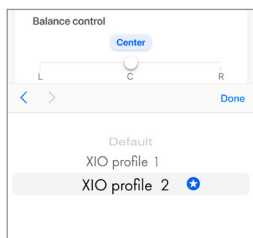
サブの極性:理想的には、サウンドバーとサブウーファースが同時に同じ方向に動いている必要がありますが、そうでない場合は周波数が打ち消される可能性があります。サブウーファースの極性を切り替えることで、低音レスポンスの欠如を解決できます。

どのワイヤレスアダプタを使用していますか?:KW-1*とKW-2は、信号をワイヤレスで送信するサブウーファースアダプタキットであり、サブウーファースを最適に配置できます。KW-1またはKW-2を使用している場合は、このオプションを有効にしてください。

*KW1は日本での販売はございません。

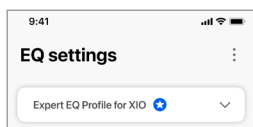
10.4.6 EQプロフィールの選択

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にあるEQ設定アイコン (🔊) をタップします。
2. 「Default」(デフォルト) をタップして、スピーカーに適用するEQプロフィールを選択します。星のアイコンが付いたプロフィールは、「エキスパート」モードで作成されます。

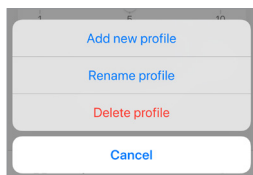


10.4.7 EQプロフィールの名前を変更する

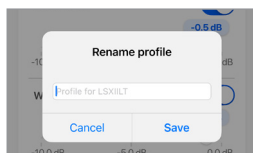
1. 選択したEQプロフィールで、右上のオプションアイコン (⋮) をタップします。



2. 「Rename profile」(プロフィール名の変更) をタップします。

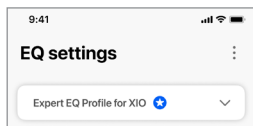


3. プロフィールに新しい名前を作成して、「Save」(保存) をタップします。

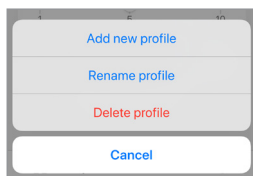


10.4.8 EQプロフィールを削除する

1. 選択したEQプロフィールで、右上のオプションアイコン(:)をタップします。



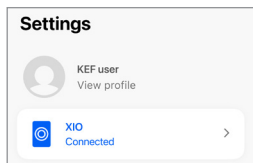
2. 「Delete profile」(プロフィールを削除) をタップします。



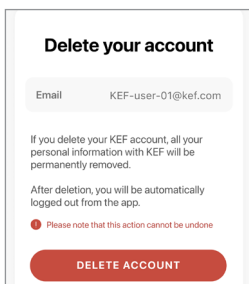
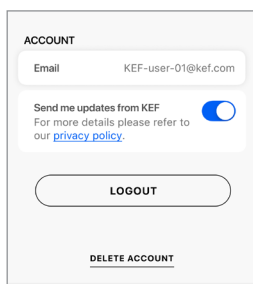
10.5 アカウントプロフィール

このメニューでは、登録したユーザーアカウントの個人情報(アカウント名とプロフィール写真)を表示したり、アカウントを削除したりできます。

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン(⚙️)をタップします。
2. 「View profile」(プロフィールを表示) をタップします。



3. アカウントを削除するには、画面下部の「Delete Account」(アカウントを削除) をタップし、指示に従ってください。このプロセスには最大10営業日かかる場合があります、完了すると確認メールが届きます。

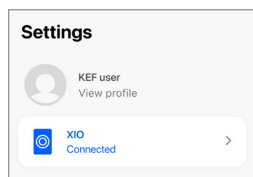


10.6 スピーカーの選択

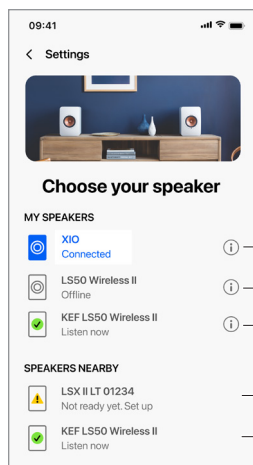
10.6.1 「My Speaker」(自分のスピーカー) と「Speakers nearby」(近くのスピーカー)

このメニューでは、KEF Connectアプリで別のスピーカーペアに切り替えて操作やストリーミングを行うことができます。スピーカーを選択できるようにするには、すべてのスピーカーを、まず同じKEF Connectアプリで設定する必要があります。

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙) をタップします。
2. 接続されているスピーカーの名前をタップします。



3. コントロールとストリーミング用の、別のスピーカーのペアを選択します。



現在のスピーカー

同じネットワーク上にあるが、電源がオフになっているスピーカー

同じネットワーク上にあり、切り替えの準備ができているスピーカー

まだKEF Connectアプリで設定されていません

別のモバイルデバイスを使用し、KEF Connectアプリで既に設定済みです

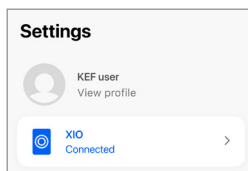


「Speakers nearby」(近くのスピーカー) リストにあるスピーカーは同じネットワーク上にありますが、そのモバイルデバイスのKEF Connectアプリから操作できる状態にはまだなっていません。

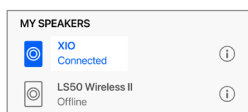
10.6.2 スピーカー情報

このメニューでは、接続されているスピーカーに関する詳細情報を確認したり、スピーカーの名前を変更したり、KEF Connect アプリからスピーカーを切断したりできます。

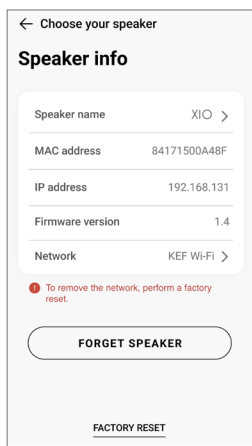
1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙️) をタップします。
2. 接続されているスピーカーの名前をタップします。



3. スピーカーの名前の横にある情報アイコン (ⓘ) をタップします。



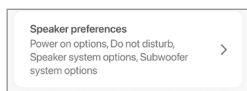
4. スピーカーのMACアドレス、IPアドレス、ファームウェアバージョンを確認してください。スピーカー名の変更、スピーカーの削除 (KEF Connectアプリからのスピーカーの切断) や、出荷時の設定にリセットすることができます。



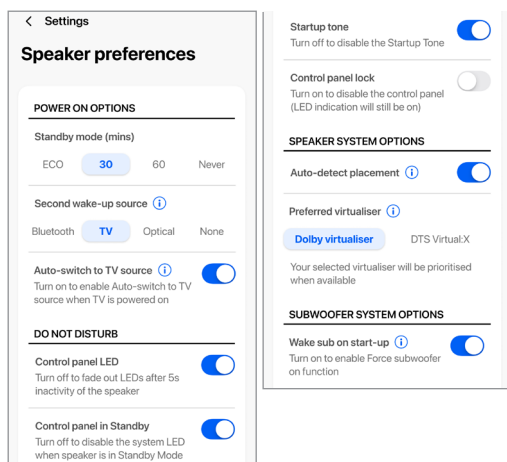
10.7 スピーカーの詳細設定

このメニューでは様々なスピーカー設定を調整できます。このメニューへのアクセス方法:

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙️) をタップします。
2. 「Speaker preferences」(スピーカー設定) をタップします。



3. 設定を調整します。



10.7.1 電源を入れるオプション

10.7.1.1 スタンバイ モード

この設定は、スピーカーが自動的にスタンバイモードに入るまでの待機時間 (ECO (20分)、30分、または60分) を決定します。「Never」(なし) を選択した場合は、スピーカーを手動でオフにする必要があります。

10.7.1.2 セカンド・ウェイクアップ ソース

この設定により、選択したソースから音声入力がある場合、別のソースが自動的にスピーカーをオンにします。スタンバイ モードがECOに設定されているときは、このオプションは使用できません。

10.7.1.3 TVソースへの自動切り替え

この設定により、テレビの電源が入っているときに、スピーカーが自動的にテレビモードに切り替わります。

10.7.2 おやすみモード

10.7.2.1 コントロール パネルLED

この設定により、LEDインジケータ ランプは、操作されない状態が5秒間続いた場合にフェードアウトします。

10.7.2.2 スタンバイのコントロール パネル

この設定により、スピーカーがスタンバイ モードのときに、LEDインジケータ ランプが消灯します。

10.7.2.3 起動音

スピーカーの電源を入れたときに起動音をミュートできる設定です。

10.7.2.4 コントロール パネル ロック

この設定により、コントロール パネルをロックできます (LED表示は点灯したままです)。

10.7.3 スピーカー システムオプション

10.7.3.1 プリファード バーチャライザー

この設定は、優先するバーチャライザー (DolbyまたはDTS Virtual X) を選択します。

10.7.4 サブウーファー システム オプション

10.7.4.1 起動時のウェイクサブ

この設定は、スピーカーの電源を入れると同時にサブウーファーを起動します。この機能はKEFのサブウーファーにのみ対応しており、他のサブウーファーには対応していない場合があります。

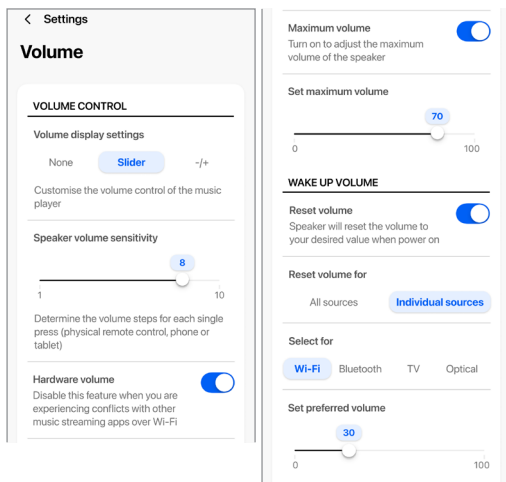
10.8 ボリューム

このメニューでは音量の設定を行います。このメニューへのアクセス方法:

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙️) をタップします。
2. 「Volume」(音量)をタップします。



3. 設定を調整します。

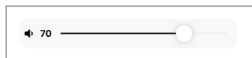


10.8.1 音量調節

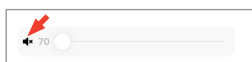
10.8.1.1 音量表示設定

ここでは、音量調節の表示方法を設定できます。

- ・なし:再生中は音量調節は表示されません。
- ・スライダー:音量調節は、調整用のスライダーとして表示されます。



左側のスピーカーアイコンをタップすると、スピーカーからの音声出力をミュートまたは元に戻すことができます。



- ・-/+ :音量コントロールは、調整用の「-」ボタンと「+」ボタンとして表示されます。



中央のスピーカーアイコンをタップすると、スピーカーからの音声出力をミュートまたは元に戻すことができます。



10.8.1.2 スピーカーの音量感度

この設定では、デバイスの音量ボタンを1回押すごとに変更される音量段階の数を設定できます。

10.8.1.3 ハードウェアボリューム

この設定は、iOSデバイスでのみ使用できます。ハードウェア音量ボタンは、デバイス自体の音量ボタンを指します。Wi-Fi接続を介して他の音楽ストリーミングアプリと競合している場合は、この設定を無効にします。

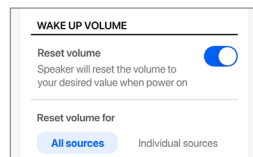
10.8.1.4 最大音量

音量調整時の最大レベルを設定することができます。この設定は、すべてのソースに適用されます。

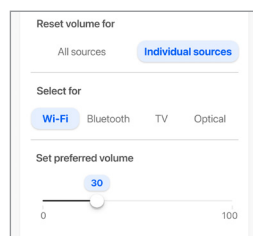
10.8.2 ウェイクアップボリューム

この設定では、スピーカーの電源投入時にスピーカーの起動音量を希望のレベルに設定できます。この設定は、すべてのソースに適用することも、個々のソースごとに異なる起動音量を設定することもできます。

ウェイクアップ音量 – すべてのソース



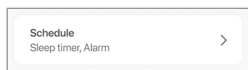
ウェイクアップ音量 – 個々のソース



10.9 スケジュール機能

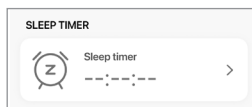
このメニューでは、XIOのスリープタイマーとアラームを設定できます。スリープタイマーを設定すると、指定した時間が経過した後にXIOが自動的に電源オフになります。アラームを設定すると、指定した時間にXIOが自動的に起動し、お好みのアルバム、プレイリスト、またはラジオチャンネルの音楽を再生します。このメニューへのアクセス方法：

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙) をタップします。
2. 「Schedule」(スケジュール) をタップします。

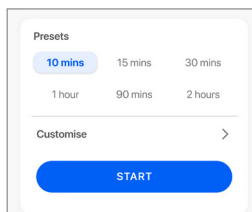


10.9.1 スリープタイマーの設定

1. 「>」をタップします。



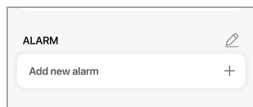
2. プリセットのスリープタイマーを選択するか、「>」をタップしてカスタマイズします。



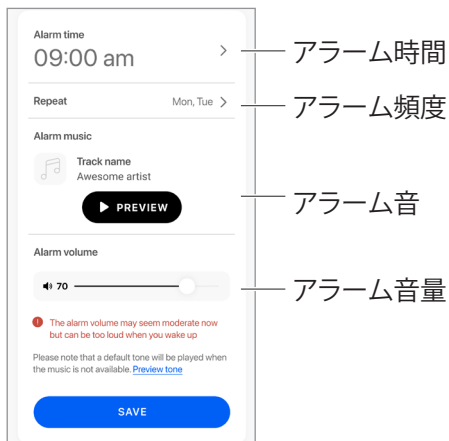
3. 「Start」(開始)をタップすると、スリープタイマーが開始されます。

10.9.2 アラームの設定

1. 「Add new alarm」(新しいアラームを追加) をタップします。



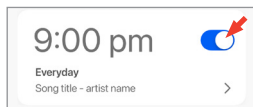
2. アラームの詳細を設定して、「保存」をタップします。



アラーム音: 画面に表示される指示に従って、アラームで再生するアルバム、プレイリスト、またはラジオチャンネルを選択してください。

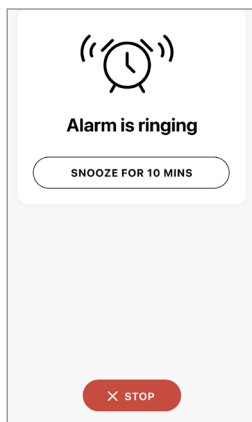
10.9.3 設定済みのアラームのオン/オフの切り替え

- ボタンをタップして、スケジュールされたアラームを有効または無効にします。



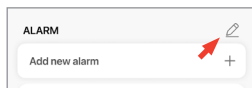
10.9.4 呼び出し音アラームをオフにする

- 「Stop」(停止) をタップすると、次の予定時刻までアラームが停止し、「Snooze for 10 mins」(10分間スヌーズ) をタップすると、アラームが一時的にミュートされます。

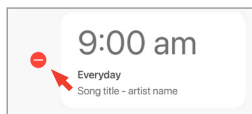


10.9.5 設定済みのアラームの削除

1. 編集アイコン (✎) をタップします。



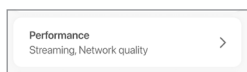
2. 不要なアラームを削除するには、「-」記号をタップします。



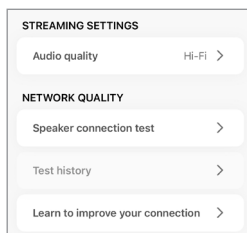
10.10 パフォーマンス

このメニューでは、ストリーミング設定の構成と、ネットワーク品質の評価が可能です。このメニューへのアクセス方法：

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙) をタップします。
2. 「Performance」(パフォーマンス) をタップします。



3. 設定を構成します。



10.10.1 ストリーミング設定 – オーディオ品質

この設定では、KEF Connectアプリ内で音楽ストリーミングサービスの音質を選択できます。

- **Hi-Fi (Hi-Fi品質)：**最高の音質を得るには、常にこの設定を選択してください。最高の品質は、音楽ストリーミングサービスとサブスクリプションによって異なります。
- **高 (CD品質)：**スピーカーが混雑したネットワーク環境にあり、音質の途切れが発生している場合に選択してください。
- **標準 (MP3品質)：**スピーカーが混雑したネットワーク環境にあり、音声の途切れが発生している場合に選択してください。

10.10.2 ネットワーク品質

この設定では、ネットワーク品質を評価することができます。詳細については、「[スピーカー接続テスト](#)」の章を参照してください。

- スピーカー接続テスト: ネットワーク品質チェックを実行するには、このオプションを選択します。

NETWORK INFO

Speaker model	XIO
Speaker name	XIO Living room
Network	KEF Wi-Fi
Network connection	2.4G

START

- テスト履歴: テスト履歴を確認するには、このオプションを選択してください。

TODAY

XIO 10:00 PM	30.5 Mbps
-----------------	-----------

CLEAR HISTORY

- 接続改善ガイド: このオプションを選択すると、ネットワーク品質の確認や改善方法に関するヒントをご覧いただけるKEFのウェブサイトアクセスできます。

10.11 スピーカーの最新情報

10.11.1 自動ファームウェアチェック

各スピーカーは、4時間ごとに、サーバで新しいファームウェア アップデートが利用可能かどうかをチェックします。ファームウェアが利用可能な場合は、ファームウェアの更新が必須かどうかを確認します。

ファームウェア更新が必須の場合、以下の条件で自動的に更新が開始されます：

- ・スピーカーがスタンバイモードのとき
- ・Wi-FiソースまたはBluetoothソースが60分間操作されていないとき

ファームウェア更新が必須でない場合、以下の条件で実行されます：

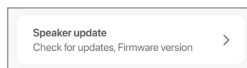
- ・スピーカーが午前2時～3時の間にスタンバイモードのとき
- ・Wi-FiソースまたはBluetoothソースが60分間操作されていないときスピーカー使用中はファームウェア更新は行われません。

10.11.2 手動でのファームウェアのアップデート

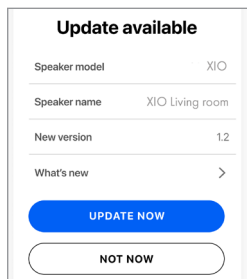
このメニューでは、ファームウェアのアップデートを手動で確認できます。

このメニューへのアクセス方法：

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙) をタップします。
2. 「Speaker update」(スピーカーアップデート) をタップします。



3. アップデートが利用可能な場合は、「Update now」(今すぐアップデート) をタップして、ファームウェアのアップデートを続行します。

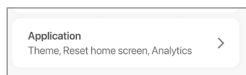


10.12 アプリケーション

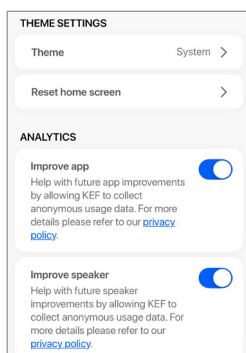
このメニューでは、ホーム画面をリセットして分析を送信できます。

このメニューへのアクセス方法：

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙) をタップします。
2. 「Application」(アプリケーション) をタップします。



3. 設定を構成します。



10.12.1 テーマ設定 – テーマ

この設定では、テーマ モード ((System (システム)、Light (ライト)、Dark (ダーク)) を設定できます。

10.12.2 テーマ設定 – ホーム画面をリセット

この設定により、アプリのホーム画面をデフォルト設定にリセットできます。

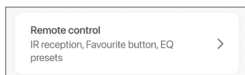
10.12.3 分析 – アプリ/スピーカーの改善

この設定により、KEF Connectアプリは、匿名で改善分析をKEFに送信できます。KEFが製品のパフォーマンスを向上させるために、この設定を有効にすることをお勧めします。

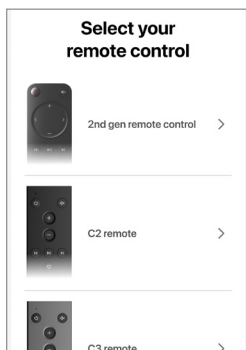
10.13 リモコン

この設定では、スピーカーのIRリモコンの応答の調整や、お気に入りボタンやEQボタンのカスタマイズができます。このメニューへのアクセス方法：

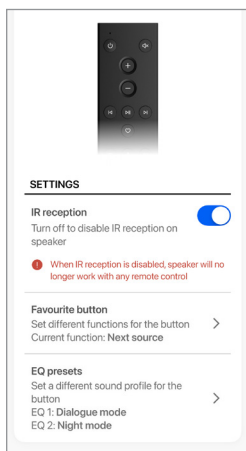
1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙) をタップします。
2. 「Remote control」(リモコン) をタップします。



3. 「C2 remote」(C2リモート) を選択します。



4. 設定を構成します。



10.13.1 IR受信

この設定では、スピーカーのIR受信を有効または無効にすることができます。

10.13.2 お気に入りボタン

この設定では、リモコンのお気に入りのボタン機能 (ソース選択、コントロール パネルロック、最大音量設定、音量設定、Bluetoothペアリング、サブウーファー出力調整など) をカスタマイズできます。

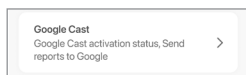
10.13.3 EQプリセット

この設定により、サウンド プロファイル (例:ムービー、会話) を、リモコンのEQボタンに割り当てることができます。

10.14 Google Cast

この設定は、Google Castの有効化、デバイスの使用状況、クラッシュレポートのGoogleへの送信に関連しています。このメニューへのアクセス方法:

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙) をタップします。
2. 「Google Cast」をタップします。



10.15 サポート

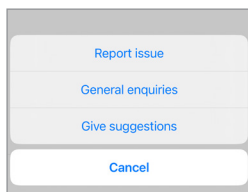
このメニューでは、問題の報告、ご意見の送信、一般的な問い合わせを行うことができます。

このメニューへのアクセス方法：

1. KEF Connectアプリで、ホーム画面の下部にある設定アイコン (⚙) をタップします。
2. 「Support」(サポート) をタップします。



3. 必要なサポートの種類を選択して、画面の指示に従って進めてください。



4. 問題を報告する際には、使用しているメールプログラムが自動的にスピーカーログを添付し、KEFが問題を調査できるようにします。あわせて、メール本文に問題の内容をご記入ください。

Support

Report issue ▼

Speaker model	XIO
Firmware version	1.1
App version	1.3.2
OS version	iOS 17.0
Device name	iPhone 15
Country/Region	Hong Kong >

Issue encountered*

Describe the issue you've encountered

Steps to reproduce the issue

Enter the steps to reproduce the issue

Attach file +

LOG com.kef.2023-03...

JPG MVIMG_20230321_2031... 🗑

MP4 VID_20230321_14.mp4

Supports images and videos*

☐ I would like to be contacted by support.

SUBMIT

11. 空間オーディオコーデック

オーディオコーデックは、オーディオデータをエンコードおよびデコードするデバイスです。さらに、空間テクノロジーにより、没入型の3次元サウンド体験が可能になります。空間オーディオコーデックは、従来のステレオを超えて奥行きや空間的な手がかりを加えることで、リスナー位置の上下を含むさまざまな方向から音が感じられるようにします。

空間オーディオコーデックの例：

- Dolby Atmos
- DTS:X
- SONY 360 Reality Audio
- MPEG-H

11.1 XIOとの互換性

特徴	光入力	HDMI eARC	HDMI ARC	ワイヤレス
標準フォーマット				
5.1サラウンド (圧縮)	✓	✓	✓	✓
5.1サラウンド (非圧縮)	–	✓	–	–
オブジェクトベースの形式				
Dolby Atmos®	–	✓	✓	✓
DTS:X®	–	✓	–	✓
Sony 360 Reality Audio™	–	✓	–	✓
MPEG-H™	–	✓	✓	✓

注：互換性は、ソースとコンテンツのパラメーターの影響を受けます。

12. 清掃とメンテナンス

注意!

ショートの危険性!

ハウジングに浸透した水やその他の液体は、ショートを引き起こす可能性があります。

- XIOを水やその他の液体に浸さないでください。

注意!

損傷の危険性!

XIOの取り扱いを誤ると、損傷する可能性があります。

- 強力なクリーナー、金属やナイロンの毛のブラシ、ナイフや硬いスクレーパーなどの鋭利な器具、金属製の器具を使用しないでください。表面を損傷する可能性があります。

1. 清掃する前に、XIOの電源ケーブルを電源ソケット/コンセントから取り外してください。
2. 糸くずの出ない清潔な布でXIOの表面を拭いてください。必要に応じて、アルコール不使用のクリーナー（画面用クリーナー、眼鏡レンズクリーナーなど）を使用して、頑固な汚れを取り除きます。
3. 音響用ファブリックは、耐水性および防汚性の表面加工が施されており、長期にわたり品質を維持できるようになっています。表面のほこりは、柔らかい綿布で拭き取ってください。あるいは、低出力の掃除機または車載用掃除機を使用し、ファブリックやメッシュグリルに付着した異物をやさしく吸い取ってください。

13. 廃棄

13.1 梱包資材の廃棄

廃棄する前に梱包資材を分別してください。紙、段ボール、包装材は、お住まいの地域のガイドラインに従って廃棄してください。

13.2 スピーカーの廃棄

古い電化製品を家庭ごみとして処分することはできません！

XIOは電子製品であり、家庭ごみとして処分できない場合があります。お住まいの市区町村の規則に従って廃棄してください。これにより、使用済み機器が適切にリサイクルされ、環境への悪影響を低減することができます。

13.3 バッテリーの廃棄

バッテリーを家庭ごみとして処分することはできません！

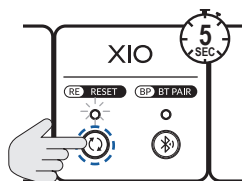
エンドユーザーは、法令に基づき、有害物質を含むか否かにかかわらず、すべてのバッテリーを自治体の回収所または販売店に持ち込むことが義務付けられています。これにより、環境に配慮した方法で処理されます。

* 表示例：Cd = カドミウム、Hg = 水銀、Pb = 鉛

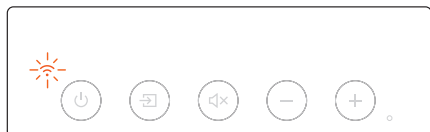
14. よくある質問とトラブルシューティング

1.XIOをリセットする方法は？

背面パネルのリセットボタン (RE) を、ボタン上部のインジケーターが点滅するまで押し続けてください。



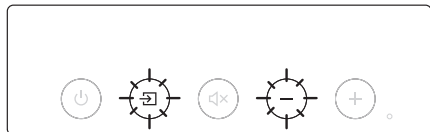
2.以下のLED表示が見られた場合、どうすればよいですか？



Wi-Fiアイコンがオレンジでゆっくりと点滅しています。

XIOはWi-Fiネットワークに接続できません。

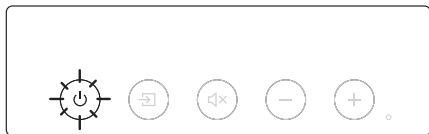
1. Wi-Fiネットワークの安定性をチェックして確保してください。
2. XIOをリセットし、ネットワークに再接続します。
3. LANケーブルを使用してXIOをルータに直接接続することもできます。



ソースボタンとボリューム ダウン ボタンがゆっくりと点滅。

ファームウェアの更新が中断されました。XIOをリセットしないでください。

1. XIOから電源ケーブルを外します。
2. 約60秒待ちます。
3. 電源ケーブルをXIOに戻します。
4. KEF Connectアプリで、ファームウェアアップデートを再度行います。

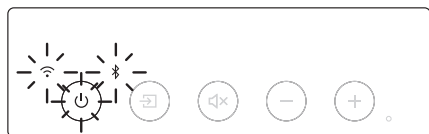


ON/OFFボタンが点滅しています。

システムエラーが発生。

1. XIOから電源ケーブルを外します。
2. 約30分待ちます。
3. 電源ケーブルをXIOに接続し直し、通常の動作に戻します。

注:不適切な電源接続でシステムエラーが発生する可能性があります。XIOでソケット/出力エクステンダを使用しないでください。



Wi-Fiアイコン、Bluetoothアイコン、オン/オフボタンがすばやく点滅します。

過熱保護が作動しました。

XIOの電源を切り、XIOが冷えるまで約15分待ちます。

問題が解決しない場合は、KEFカスタマーサービスにお問い合わせください。

注:過熱保護機能がアクティブになると、再生音量は制限されます。適切な熱放散のために、XIOの前面、下部または背面を物体が塞いでいないことを確認してください。

3. 私のテレビはXIOと互換性がありますか？

XIOとの最高の互換性を確保するには、eARCインターフェイスを備えたテレビに接続することをお勧めいたします。eARC (Enhanced Audio Return Channel) は、Dolby Atmos、Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、DTS:X、MPEG-H、360 Reality Audioなどの高ビットレートのオーディオフォーマットをサポートする、最新のオーディオリターンチャンネル技術です。これにより、XIOからの可能な限り最高のオーディオ品質が保証されます。

4. XIOによるオーディオ出力がビデオと同期しないのはなぜですか？

テレビの音声同期またはリップシンク機能を使用してください。さらに、すべてのデバイスに最新のファームウェアアップデートが適用されていることを確認してください。

5. XIOでDolby Atmosを有効にするにはどうすればよいですか？

HDMI eARC/ARC 接続を使用していること、および、テレビとコンテンツソースの両方がDolby Atmos をサポートしていることを確認してください。テレビのオーディオ出力を「Bitstream」、「自動」または「バイパス」に設定して、Dolby Atmos対応コンテンツを選択します。

6. XIOの音量を制御するにはどうすればよいですか？

XIOのトップパネルまたはリモコンの音量ボタンを使用することができます。HDMI ARC/eARC経由で接続している場合は、テレビのリモコンを使用して、音量を制御できます。XIOは、KEF Connectアプリによる音量コントロールもサポートしています。

7. XIOから音声が出力されないのはなぜですか？

XIOとテレビの両方の電源が入っており、テレビのHDMI eARC/ARCポートに正しく接続されていることを確認してください。テレビのオーディオ出力が「外部スピーカー」または「サウンドバー」に設定されていることを確認してください。また、テレビでCECが有効になっていることを確認してください。

音量を上げて、XIOで入力ソースが正しいことを確認してください。

8. XIOをプロジェクタやノートパソコンに接続することはできますか？

XIO HDMI (ARC/eARC) は、テレビのARC/eARCポートに接続するように設計されています。

ノートパソコンには通常、外部ディスプレイ (モニターやテレビなど) に映像・音声信号を送るためのHDMI出力ポートが搭載されていますが、サウンドバーに直接音声信号を送るためのポートではありません。

XIOは、ARC/eARC出力ポートを備えたプロジェクタをサポートします。

9. XIOに最適な部屋のサイズはどれくらいですか？

最適な部屋のサイズは最大で40m²までです。

15. 別紙

15.1 仕様

モデル	XIO
寸法 (高さ×幅×奥行き)	70×1210×165mm (2.8×47.6×6.5インチ)
重量	10.5kg (23.1ポンド)
ドライブユニット	HF/MF: 6x50mm (2インチ) Uni-Q MXドライバ HF/MF: 2x50mm (2インチ) フルレンジドライバ LF: 50×180mm (2×7インチ) P185ドライバ VECO製 4個
アンプ	HF/MF: 8xクラスD LF: 4xクラスD
最大SPL (1mで測定)	102 dB
周波数特性 (±3dB)(85dB/1m で測定)	34 Hz – 20 kHz
接続	
入力	HDMI 2.1 eARC TOSLINK光学 USB Type C (サービス) RJ45イーサネット (ネットワーク)
出力	ワイヤレスサブウーファー出力 RCAサブウーファー出力
ワイヤレス接続	KEF Connect AirPlay Google Cast UPnP互換 Bluetooth 5.3

ストリーミングサービス	Spotify Connect経由のSpotify Tidal Connect経由のTidal Amazon Music Qobuz Deezer Qplay経由のQQミュージック HIGHRESAUDIO インターネットラジオ Podcast *利用可能なサービスは国によって異なります
対応フォーマット	Dolby Atmos、DTS:X、360 Reality Audio、MPEG-H、FLAC、WAV、AIFF、ALAC、AAC、WMA、MP3、M4A、LPCM、Ogg Vorbis *ソース デバイスのサポートによって異なります
対応解像度	最大192kHz/24ビットのHDMI eARC 最大384kHz/24ビットのネットワーク 最大96kHz/24ビットの光 *ソース解像度によって異なります
チャンネル数	5.1.2まで
Wi-Fiネットワーク周波数帯域	2.4GHz/5GHz/6GHz
Wi-Fiネットワーク規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax IPv4、IPv6
電力	
アンプ出力	820W (瞬時総定格電力)
電源入力	100～240V AC 50/60Hz
消費電力	400W (最大動作電力) < 2.0W (ECOモード待機電力) < 0.5W (非Wi-Fiモード)

KEFは継続的な研究開発に伴い、仕様を修正または変更する権利を留保します。E&O (誤字や脱字脱落の免責)

15.2 ログと商標



Works with Appleバッジを使用すると、アクセサリがバッジで識別されたテクノロジーで特別に動作するように設計されています。これは、Appleのパフォーマンス基準を満たすことが、開発者によって認定されていることを意味します。

XIOは、AirPlayと互換性のあるプレミアムスピーカーです。XIOでAirPlayをご使用になる際は、最新バージョンのiOS、iPadOS、macOSをお勧めいたします。AppleおよびAirPlayは、米国およびその他の国および地域で登録されたApple Inc.の商標です。商標である「iPhone」は、アイホン株式会社のライセンスを受けて日本で使用されています。

Google Castは、Google LLCの商標です。

Spotifyソフトウェアは、次の場所にあるサードパーティライセンスの対象となります。

<https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>。携帯電話、タブレットまたはコンピュータをSpotifyのリモコンとしてご使用ください。方法については、spotify.com/connectにアクセスしてご覧ください。

Dolby、Dolby Atmos、およびダブルD記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporationの商標または登録商標です。Dolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。機密の未発表作品。著作権 © 2012–2024 Dolby Laboratories. 無断転載を禁じます。

DTS特許については、<http://patents.dts.com>を参照してください。DTS, Inc.またはDTS Licensing Limitedのライセンスに基づいて製造されています。DTS、DTS:XおよびDTS:Xロゴは、DTS, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。© 2021 DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

MPEG-HオーディオシステムのロゴはFraunhoferの商標であり、ドイツ、米国およびその他の国で登録されています。

360 Reality Audioでは、互換性のある音楽ストリーミングサービスへの加入が必要です – サブスクリプション料金が適用される場合があります。対応サービスは、一部の国/地域ではご利用いただけない場合があります。

サービスの互換性を確認するには、sony.net/360RA/にアクセスしてください。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

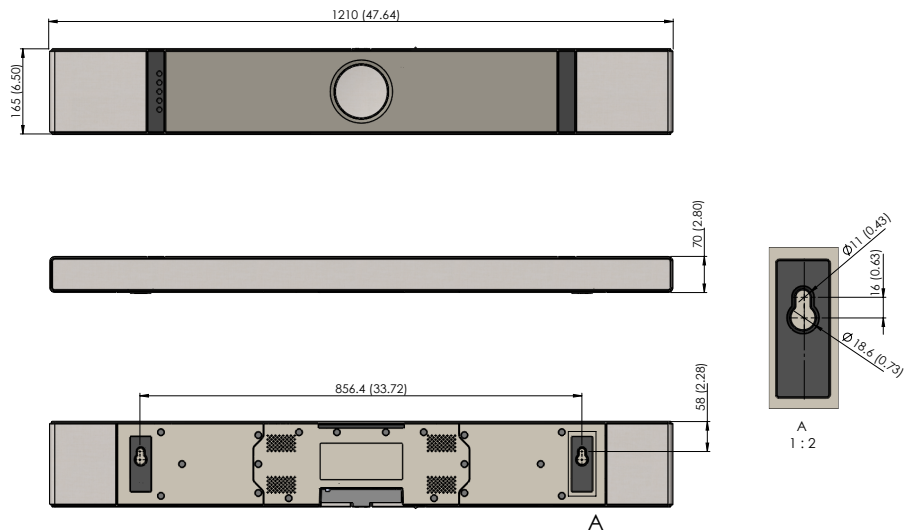
Bluetooth®の商標およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。その他の商標および商号は、それぞれの所有者のものです。

詳細については、[KEF.com](https://kef.com)をご覧ください

KEFは継続的な研究開発に伴い、事前の通知なしに仕様を修正または変更する権利を留保します。E. & O.E.

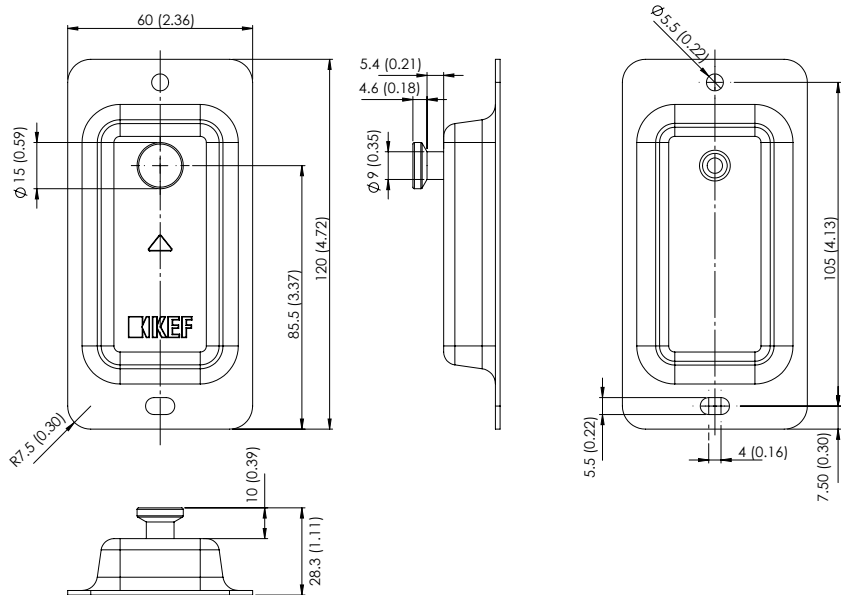
15.3 製品の寸法

15.3.1 XIO



単位:mm (インチ)

15.3.2 壁掛け用キット



単位:mm (インチ)

15.4 スピーカー接続テスト

KEF Connectのスピーカー接続テストにより、KEFワイヤレススピーカーシステムで利用可能なネットワーク帯域幅の量がわかります。このテストでは、ランダムなサーバーからスピーカーへファイルをダウンロードすることで、ネットワークのあらゆる段階を考慮します。つまり、インターネットサービスプロバイダー (ISP) が提供する帯域幅やサーバーのトラフィックから、ルーターとスピーカー間の接続速度までを含みます。表示されるもう1つの値は「ping」です。これは、サーバに到達可能かどうかを確認するために使用する信号であり、応答に要する時間を示します。

それぞれのサービスに必要な速度はどのくらいですか？

音楽ストリーミングサービスごとに、扱う音声ファイルサイズに応じて推奨帯域幅が異なります。

サービス	最小推奨帯域幅
Tidal (Master tier)	2Mbps
Amazon Music (Ultra HD)	5～10Mbps
Amazon Music (HD)	1.5～2Mbps
Deezer	5Mbps
Qobuz	10Mbps

なお、それらは、サービス自体が推奨する最低限の専用帯域幅であることに注意してください。KEFは、大容量の高解像度音楽ファイルの安定したストリーミングを保証するために、13Mbps以上の専用帯域幅をお勧めしています。

つまり、利用可能な総ネットワーク帯域幅は、ネットワーク上のすべての機器が必要とする帯域幅の合計を上回っていなければなりません。もしネットワーク機器が必要とする帯域幅が利用可能な帯域幅を超えてしまうと、速度低下、性能の低下、音切れなどが発生する可能性があります。これはウェブ閲覧やファイルダウンロードでは(遅くなる以外は)そこまで問題になりませんが、音楽ストリーミングにおいては特に問題になります。

私のテストスコアは、ISPに支払った速度よりもはるかに低いです。なぜでしょうか？

ISP (インターネット サービス プロバイダ) が提供する帯域幅は、ネットワークに入ると予想される最大帯域幅であるため、「最大○○ Mbps」と表記されます。これは、プロバイダのケーブル配線の品質、契約の「フェアユース」条項、同じサーバへのアクセス人数などの、多くの要因によって影響を受ける可能性があります。

ただし、ISPで最大の帯域幅を受け取っていても、ホーム ネットワークがボトルネックを引き起こしている可能性があります。主な要因には、電波干渉、障害物、ルータとデバイス間の距離が含まれます。時間帯でも影響を及ぼす可能性があり、お住まいの地域でインターネットを使用する人が増えると、帯域幅が減少する可能性があります。ただし、テストのスコアを向上させるのに役立つ簡単な方法がいくつかあります。

他のテストよりもスコアが低いのはなぜですか？

インターネット接続テストは、理論上の「最適なシナリオ」の速度が表示されるよう最適化されていることが多いため、ISPが提供するものを示す良い指標となりますが、KEFスピーカー システムの利用可能な帯域幅を具体的に示すことはできません。KEF Connectスピーカー 接続テストは、スピーカー システムを通常どおり使用した場合の結果をより正確に表します。

	KEF Connect	その他
テストに使用したサーバ	ランダム (現実の状況)	可能な限り最も近い (最適化、非現実的)
開設済みの接続数	1つ (KEFスピーカー システムと同じように動作)	可能な限り多く (ネットワークスループットを人為的に最大化)
ダウンロード先のファイル...	KEFスピーカー システム (システムのネットワークへの接続品質を反映)	スマートフォン/コンピュータ (高品質/低品質のネットワークエリアにある可能性)

ネットワーク エクスペリエンスの向上

帯域幅を改善する方法はいくつかあります。非常にシンプルでコンピュータやルータの知識を必要としないものもあれば、ルータの設定を変更する必要があるなど少し高度なものもあります。通常はルータのマニュアルをご参照いただき、ご不明点がございましたら専門家にご相談ください。

まず、スピーカー システムがルータにどのように接続されているか (イーサネットケーブルで有線接続するか、ワイヤレスで接続されているか) を確認することが重要となります。

イーサネット ケーブルで接続されている場合：

1. ルータのファームウェアを更新する

更新されたファームウェアが既知のバグに対処している可能性があるため、これは、あらゆる電子機器にとって基本的な手順となります。

2. ルータを再起動する

ルータは、基本的にコンピュータであり、同じ問題の影響を受けます。バグや一時的なエラーによるメモリの過剰使用や、ルータの過熱化 (密閉されたスペースに設置すべきでないと言われる理由の一つがこれです) が生じる可能性があります。さらに、IPアドレスの競合が発生する可能性があります。ルータを再起動すると、多くの場合、これらの問題が解決します。実際、ルータの再起動は、定期的に、またはネットワーク パフォーマンスが低下するたびに行う必要があります。一部のルータには再起動をスケジュールするオプションもあるため、「設定して放っておく」ことができます。

3. ケーブルに損傷や過度のねじれがないか確認する。

ホームネットワークのケーブル長さが問題になることはほとんどありません (たとえば、Cat 6イーサネットは37m/121フィートにわたって10Gbpsを伝送できま

す)。しかしながら、ケーブルが曲がりすぎたり、損傷したりすると、パフォーマンスが損なわれる可能性があります。

4. 「ネットワークホームプラグ」を使用している場合は再検討する

これらの機器は、主電源配線をイーサネット ケーブルの延長として利用します。便利な解決策ですが、主電源配線の品質や構造に大きく依存するため、常に期待通りに動作するとは限りません。

ワイヤレスで接続されている場合：

基本的な対処

ワイヤレス接続を使用する場合の手順です。以下の手順には、ルータ設定の変更は含まれません。

1. ルータのファームウェアを更新する

更新されたファームウェアが既知のバグに対処している可能性があるため、これは、あらゆる電子機器にとって基本的な手順となります。

2. ルータを再起動する

ルータは、基本的にコンピュータであり、同じ問題の影響を受けます。バグや一時的なエラーによるメモリの過剰使用や、ルータの過熱化（密閉されたスペースに設置すべきでない」とされる理由の一つがこれです）が生じる可能性があります。さらに、IPアドレスの競合が発生する可能性があります。ルーターを再起動することで、これらの問題が解消されることがあります。再起動は定期的（2か月ごと、またはネットワーク速度が通常より大幅に遅いと感じるとき）に行うことを推奨します。

3. 可能であればイーサネットケーブルでルーターに接続する

これは、常に可能であるとは限りませんが、可能な場合は、ケーブル接続によって、後述の問題が解消される可能性があります。

4. ルータとデバイス間の距離を短くする

Wi-Fi信号は音のようなもので、離れるほど「小さく」なり、利用可能な帯域幅は減少します。

5. 送信デバイスをスピーカーから離す

コードレス電話、Bluetoothデバイス、ベビー用モニター、ルータなどの送信デバイスは、スピーカーの近くにあることで、干渉が生じる可能性があります。トラブルシューティングを行うには、近くにある送信機の電源を切って、KEFスピーカーシステムのネットワークパフォーマンスが向上するかどうかを確認してください。改善が見られる場合は、デバイス間の距離をより長くしてみてください。

6. ルータとデバイスの間にある障害物を減らす

距離と同様、障害物によっても、信号が遮断され、帯域幅が減少する可能性があります。金属（鉄筋コンクリート、鏡の裏側）が最も大きな妨げとなり、コンクリート、石膏、レンガが、それに続きます。これがルータを地下室や階段下の収納に設置しない方がよい大きな理由のひとつです。

7. ルータが別の部屋にある場合は、2.4GHz帯域に切り替える

最新のルータのほとんどはデュアルバンドです。これは、2.4GHz帯域と5GHz帯域の両方で送信することを意味します。5GHz帯域は潜在的な帯域幅は大きくなりますが、到達距離は短く、障害物の影響を大きく受けます。2.4GHz帯域の最大帯域幅は低くなりますが、実際には、ルータとスピーカーが同じ部屋にない場合は、その方が良い選択である可能性があります。

8. 近隣に多くの利用者や機器がある場合は、5GHz 帯を試す

2.4GHz帯域に多数のデバイスがある場合、利用可能な帯域幅がほとんど残っていない可能性があります。KEFスピーカー システムがルータの近くにあり、障害物が少ない場合は、帯域幅を増やすために5GHz帯に接続してみてください。障害物がある場合は、代わりにルータに近いネットワーク デバイスを5GHz帯域に移行して、2.4GHz帯域の帯域幅を解放してみてください。近隣に多くのネットワークがある場合も、干渉を回避するために効果があります。

高度な対処

以下の手順はより高度なものであり、ルータ設定の変更が含まれる場合があります。必ず、ルータのマニュアルに従い、それ以外の場合は専門家にご相談ください。

1. バンドチャンネルを変更する

2.4GHz帯域と5GHz帯域は、どちらも複数のチャンネルで構成されています。同じチャンネルを利用する近くのネットワークは帯域幅をめぐって競合するため、「ネットワークアナライザー」アプリを使用して、どのチャンネルの混雑が少ないかを判断し、ルータの設定を調整します。特に2.4GHzでは到達距離が長く、帯域幅が低いため、鑑賞の発生や影響が大きくなりやすいです。2.4GHzのチャンネルは重なりがあるため、一般的に1、6、11が良い選択肢とされています。チャンネル選択は「自動」に設定されていることが多いですが、ルータによっては、自動切り替えの性能が異なるため、手でチャンネルを設定すると効果的な場合があります。

5GHzチャンネルに関する注意 – 国によってはすべてのチャンネルが自由に使えるわけではありません。利用可能なチャンネルについては各国の規制を確認してください。ルーターが正しく地域設定されていれば、利用できないチャンネルは自動的に無効化されます。

2. バンドステアリングを無効にする

一部のルータは、「バンド ステアリング」と呼ばれる機能を提供しています。これは、機器に応じて自動的に 2.4GHz または 5GHz に割り当てる仕組みです。しか

し、ルーターによって性能が異なり、5GHz の弱い信号に固執してしまい、本来なら切り替えるべき 2.4GHz の強いネットワークに移行しない場合もあります。

3. 結合SSIDを無効にして、2.4GHzと5GHzのチャンネルを別々に動作させる

一部のデバイスでは、ルータの2.4 GHzチャンネルと5GHzチャンネルの両方に同じ名前/パスワードを設定できます。これは非常に便利ですが、一部のデバイスでは、本来 5GHz が適している場面で自動的に 2.4GHz に接続してしまったり、その逆の場合もあります。2.4GHzと5GHzのネットワークを別々に維持すると、どのデバイスがどのネットワークに配置されているかを管理できるため、帯域幅の最適化に役立ちます。

メッシュ ネットワークとWi-Fi 中継機

メッシュ ネットワークとWi-Fi 中継機は、家庭内のネットワーク カバレッジを改善するための非常に便利なツールです。ただし、最高のパフォーマンスを得るには、適切に計画して設置する必要があります。以下の情報は、メッシュ ネットワークに関する考慮事項の概要です。メッシュ ネットワークの設定に関する技術的な詳細やサポートについては、製造元またはネットワーク デバイスの専門販売店にお問い合わせください。

覚えておくべき最も重要なことは、事実上、それらはリピーターとしての仕組みであり、ルータからデータを受信し、それを次のノードまたはデバイスに転送するということです。これによりレイテンシー (遅延) が増加し、利用可能な帯域幅によっても制限されます。ルータとノード間の接続は、前述と同じ問題 (距離、障害物、干渉) の影響を受けます。

したがって、メッシュ ネットワークを設計したり、Wi-Fi 中継機を配置する場所を計画したりするときは、必要と思われるよりも多くのノードを準備し、それらを近くに配置してください。これにより、潜在的な帯域幅を最大化できます。

ルータのメーカーによってメッシュ テクノロジーの取り扱いが異なり、ネットワーク接続されたデバイスとの互換性の問題が発生する可能性があることにも注意してください。KEFワイヤレス スピーカ システムを使用している場合は、KEF Connect アプリからサポートリクエストを送信し、スピーカーログを添付してください。

15.5 消費電力

さまざまな動作モードでのXIOの消費電力：

ECOスタンバイ (ネットワーク スタンバイ)	1.8W
スタンバイ (ハイパワー スタンバイ)	3W
非Wi-Fiモード* スタンバイ	1.5W
非ワイヤレスモード* スタンバイ	0.45W
ON (アイドル)	20W
非Wi-Fi モード* ON (アイドル状態)	20W
非ワイヤレスモード*ON (アイドル状態)	20W

*非Wi-Fiモードと非ワイヤレス モードの両方にHDMI自動ウェイクアップ機能が付いています。

15.6 記号の説明

15.6.1 警告/安全マーク



正三角形内に稲妻の矢印が記された記号は、製品内部に「危険な電圧」が未絶縁の状態で存在していることを示し、人が感電する危険性があることを警告しています。



正三角形内に感嘆符が記された記号は、本機に付属する取扱説明書に記載された、重要な操作上および保守（サービス）に関する指示があることを示しています。



この記号は、保護クラスⅢに属する製品を示しています。

15.6.2 地域マーク

ヨーロッパと北米



このマークは、EU全域において、この製品を家庭ごみと一緒に廃棄することはできないことを示しています。管理されていない廃棄物処理による環境や人間の健康への害を防ぐために、責任を持ってリサイクルし、物質資源の持続可能な再利用を促進しましょう。

使用済みのデバイスを廃棄する際は、適切な回収システムを利用するか、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。



このマークの付いた製品は、欧州経済領域に適用されるすべての共同体規制に適合していることを示しています。



cTUVus認証マークが付いた製品は、サプライヤーの品質への取り組みと信頼を反映しており、米国およびカナダの電気安全規格に定められた最低要件を独立した機関により満たしていることが確認されています。



このFCCマークは、本装置からの電磁干渉が、米国連邦通信委員会の承認した制限値以下であることを証明するものです。



英国適合性評価マークは、グレートブリテン（イングランド、ウェールズ、スコットランド）内で販売される製品に適用される要求事項に適合していることを示す適合マークです。

アジア太平洋



規制遵守マーク（オーストラリア、ニュージーランド）は、製品が、ACMAの関連ガイドラインおよび電気機器の安全に関する政府要件に適合していることを示します。



このマークは、製品がシンガポール消費者保護登録制度の指定安全要件を満たしていることを示します。



日本PSEマーク認証は、製品が、電気用品安全法（電安法）の技術基準に適合していることを示します。



本マークは、日本の通信端末機器の技術要件および設計要件に適合していることを示します。



韓国認証マークは、製品が、韓国の電気電子機器の製品安全要件に適合していることを示します。



中国品質認証マークは、安全性、品質、環境、エネルギー効率に関する中国規格（国標規格）に適合していることを示します。



本製品は、海拔2,000m未満の地域（中国）でのご使用にのみ適しています。



中国RoHS：本製品には特定の有害物質が含まれていますが、環境配慮使用期間（10年間）の間は安全にご使用いただけます。使用期間を過ぎた場合は、リサイクルシステムに回収してください。



台湾RoHS：この記号は、製品が特定の有害物質の指定された濃度制限を超えていないことを意味します。



この製品は、台湾国家通信委員会（NCC）から低電力無線周波数機器の認証を取得しています。



このMCMC認証マークは、通信機器が、マレーシアの通信およびマルチメディア (技術基準) 規則2000に基づく規格への適合が認定されていることを示します。



省エネ待機警告ラベル (韓国)



本マークが付された製品は、アラブ首長国連邦(UAE) 連邦政府の標準化・計量庁 (ESMA) により認可されていることを示しています。

15.7 IRコマンドコード

XIOは、リモコンメーカーが、そのリモコンにKEF IRコマンドコードを実装している場合に限り、ユニバーサル プログラマブル リモコンで動作します。

次の表は、必要なコマンドコードの一覧です。

コードフォーマット:	NEC
ファクトリーコード:	0x01

	機能	機能コード
1	電源オン/オフ切り替え	0x40
2	ミュート/ミュート解除切り替え	0x20
3	再生/一時停止	0x18
4	早送り	0x52
5	次のソース	0x58
6	ボリュームアップ	0x60
7	ボリュームダウン	0xA0
8	巻き戻し	0xD2
9	電源オン	0x38
10	電源オフ	0x3A
11	ソース: Wi-Fi	0x30
12	ソース: Bluetooth	0x2A
13	Bluetoothペアリング	0x98
14	ソース: 光入力	0x0A
15	プリセット ボリューム (30%)	0x78
16	ソース: HDMI	0x88
17	前のソース	0xD0
18	お気に入り (KEF Connectアプリでカスタマイズ)	0x99
19	EQ1 (KEF Connectアプリでカスタマイズ)	0x77
20	EQ2 (KEF Connectアプリでカスタマイズ)	0x55

その他のサポートについては、次のウェブサイトをご覧くださいkef.com